

東京新聞

第六卷



雜報

●金山港の輸出入 昨廿九年度の金山港貿易は二十八年に於ける農作物の輸出入の結果として商況漸次旺盛の氣運に向ひたるに夫の京城二月の事變に引續き各地方に匪徒蜂起し我商人の身体財產に危害を加ふるに至り爲に彼等の貿易遂に一頓挫を來たし殆んど恢復の見込みなき現況を現はしたるも其後匪徒の騷擾も追々鎮靜に歸し且昨年の農作物は數十年來稀年の豐饒にて生産地より運出せる米、豆、年米類の豐饒に在りて在留商人間に不景氣の氣運を興へ無きに至り尤も十月、十一月の空内地金融逼迫の影射に由りて取引上暫らく圓幣の軟弱を感ずるの懸念を得たり即ち廿九年度の貿易額は豫想外に好期を得たり即ち左の如し

二十八年度輸出入總額二百九十四萬二千二百五十五圓
 二十九年年度輸出入總額四百四十四萬九千九百七十九圓
 二十八年度輸出入總額四百四十四萬九千九百七十九圓
 二十九年年度輸出入總額四百四十四萬九千九百七十九圓

右の如く二十九年年度の貿易額は二十七八年に超過する事實を示し至りしは要するに農作物運賃の結果の外ならず而して朝鮮國に於て諸穀物類を取引買入するは獨り我商人のみならず其他重要な輸入品たる金市類に至りて支那商人の取扱ひもの我に對するの疑念を容れざるなり又海産物類に從事する我商人の總數は千五百五十艘此中組漁夫五千七百五十人にして水産會社の手を經て賣捌きたる魚類の代金十萬四千五百圓あり此外海産干鮑類は會社の手を經ず直接に各漁船より長崎大坂并に釜山の商人に賣渡すを以て其價格を知るべからず之を要するに昨年度金山港の輸出入は非常の巨額に達し開港以來未曾有の盛況を呈し隨て海關署の如きも著しく其收入を増加せり試に昨年十月以降の收入を擧ぐれば左の如し

十月 三萬三千六百一十四圓
 十一月 三萬一千四百一十二圓
 十二月 三萬三千八百一十二圓

而して十二月の輸出入總額に就き金山商業會館所及び海關署の統計に據りて之を折衷すれば實に九十五萬四千二百圓の多きに上る之を廿七年の十二月に比して五十六萬圓四十八年の同月に比して三十六萬圓を増加せり

●企業家と銀行家の區別 企業家と銀行家を區別するは言ふまでもなき事にして其間日本銀行總裁は夙に其意見を示し大坂實業家に向つて「各各片岡向支店長より專意上忠告せる處あり何れも之に賛成し退々は其方針に改まることなるべし」と雖も今俄かに實行し難き事情あり云ふは例へば東京にては總口ののみを專断せざる商人ありとも田舎の婚禮の道具と葬式の用品とを合せ賣るものあるが如く商工業上充分の發達を見る地にありては分業法容易に行なはれず文明の事業に當るもの自らから限りありて殊に實業上に關しては四十歳以上の人がならで世間の信用薄く而して當時此年齡に達し居るもの多くは専門の素養なげれが専門の技術なきは勿論普通の商人よりも早世間の事務を聞き及ぶかひは性來活潑なるが但し又多少財産あるかひ相違よりして各種の事業に關係し是等少數の人によりて文明的商工業の發達を見るに至りたる次第なれば今俄かに其關係を絶んとするも大阪の如き地にありては別して之に代るべき人あり是が爲り事業の物類を妨げ進歩を害するの憂ひなきせず尤も大阪の實業家を自せらるる根本重太郎、田中市兵衛の諸氏ハ片岡氏より前記の語を聞き至極賛成なりと述べ一般の實業家も亦此方針に出ざるべからずと信じて居るよしなれば追々その區別を見るに至るべきも實行は容易のことにあらずべしと云ふ米國なほにても企業家と銀行家の區別判然せず隨分一人にて數會社の頭取たるものあるよしなれども是等は特に支配人の人様に注意するのみならずペンマン、シオノの某家商の如き己れが頭取たる八會社の支配人ハ毎日正午家商の宅に集りて必ず茶飯を共にし頭取時々之に圍みて事務の機微を聽くなど注意周到にして我國現時の如き名義的頭取と其區別を異にせしよし企業家と銀行家を區別するを得ずして今後尙ほ一人にて各種の事業に關係すること舊の如くなるは何ぞか工夫を施らして幾分か區別の實を

●製糖業の見聞 此種製糖業が金子農商務大臣の訪同業に關する意見を叩きし御次官の答へたる意味大凡左の如し

近時我邦の製糖は光澤頗る美なれども糖質善良ならず糖物と爲すに當り糖結とするの力に乏しく爲りに歐米市場の評判甚だ宜しからず生糖検査所設置以來の報告に徴するも糖質の優良なるは甚だ稀なり其原因は製糖家が生糖の光澤を美ならしめんと爲り糖の糖質を除去する事を怠るに依る蓋し糖質の優良なるは何れも仲買商にして機業家にあらざれば品位の同一なる光澤の美なる所附見のよろしきのみ注意し糖質の如何に重きを置かず又各地方の製糖家ハ只商館の意向を慮りて光澤にのみ注意し糖質を吟味せざるの頗るあるに依り歐米市場に於ける我生糖の地位は年々低落しつゝありて今や未開國と視し居る支那産の糖絲に一着を奪はんとするの場合となり若し此の如くにして進まざれば遂に我國製糖の命脈を維持し居る製糖業の沈寂は免れざるべし外國に在りては農工業者氣服を通じ互に相取持ち製糖家、製糖業、機業家皆一致して進歩を企圖するも我邦は其組織未だ完たらず各同業者の一致するに免れなく一割抜擲の巧名に急にして爲りて農工業全体の進歩を妨ぐるものあり故に自今折衷の發達進歩を企圖せんには先づ第一着に農工業組合の組織を改め製糖家、製糖業、機業家各氣服を通じ互に相取持ち糖質光澤ともに善良なる生糖を製出し且直輸出して之を販賣する方法を講せざるべからず云々

●本年の貿易觀察員 昨年農商務省ハ海外貿易觀察特派員として不敏參事本多技師及び川井龍羽二重機業組合員中より杉田定一氏外二名を選抜して歐米を巡回せしめたるが本年ハ參事官若くハ書記官技師各一名の外信州附屬其他の製糖家中より數名を著抜し同省の特派員として歐米の機業界を親しく觀察せしめん等なりと

以上六四九七九七以上八八

禁轉載

花かんざし類、モール簪、縮緬製モール入同業... 玉用の提付物は花鳥物各種、同刺、牡丹、梅... 同従前の美女花かんざし、二重製梅花かんざし... 竹唐櫛、二〇以下、名古屋製の品大に買行あり... 同唐櫛、生地非常の直上にて職方困難の様子... 同唐櫛、生地非常の直上にて職方困難の様子... 同唐櫛、生地非常の直上にて職方困難の様子...

● 従前より一丁方面上なれど職工の勉強に依... 竹唐櫛、生地非常の直上にて職方困難の様子... 同唐櫛、生地非常の直上にて職方困難の様子... 同唐櫛、生地非常の直上にて職方困難の様子... 同唐櫛、生地非常の直上にて職方困難の様子...

● 都築氏の健強、多年の間平尾氏に精勵の後昨... 彼の有名人益田第一堂のぬれ... 平尾賢平氏、本組合員平尾賢平氏は昨年... 石川縣小松町、伊勢 治助君、宇知越清四郎君、瀧本伊兵衛君、角谷吉三郎君、三島 乙松君、九小組合資社御中、高岡源四郎君、江口喜右衛門君、早川仁右衛門君、米屋 長造君、松井 慶助君、原田長三郎君、松田 定吉君、岡本 庄一君、田中 又兵衛君、伊勢 勘成君、野田 幸吉君、津野 幸吉君、笹留 半九郎君

謝 辭

左に列記する諸氏に執れも當時の實業界中に於て... 其名聲最も尊々たるの人々なるが其熱誠の溢る、... 又我商報の同業者を益する抄なからざるを實費... せられ加ふるに印刷費補助として各金若干の寄贈... を添ふせられし段際組合一同及商報の面目之に過... ず彼て茲に貴名を列記して聊か其厚意を深謝す... (記名順序不同御海恵)

本組合録事

●解雇届出 組合員飯田とあり若し左の届出あり
●本組合員 飯田 山田 山田 山田 山田
●右者明治廿九年一月東京小問物商組合規約第
十三條中に該當する者付此段御届出あり候也
明治三十年一月廿九日 日本橋區通三丁目四番地
東京小問物商組合役員御中

●一府六縣聯合共進會 東京埼玉群馬栃木山梨
長野高野の二府六縣聯合共進會の規則が廿八
日告示になり本年十一月より十一月十五日ま
で栃木縣産物に關するものとして出品は繭・生絲及
び繭物(繭織物・木綿織物・麻織物・毛織物・交織物)
とし出品者は該府縣内に居住し繭一石以上生絲
一十斤以上繭物五十段以上を製産する者に限り
且本年の産出にあらざれば出品を許さず五月三
十一日迄に届出 七月三十一日迄に解費を返出
し届出が九月十五日までに送達すべしとなり
●廿五年紀念博覽會 三井八郎次郎氏會長とな
り本邦博覽會明治四年創設以來廿五年間に於ける
工業進歩の成績に徴し將來の發達を期らんが爲め題
名の博覽會を京都市岡崎町に於て本年四月一日よ
り五十日間開設し左の種目に限り出品を許す由
●織物・染物・繭物・絲物類・陶磁器・金銀品・七寶器
●飲食物・菓子類・茶其類・紙及紙製品・雜貨・貯蓄
●學童用品の種目開闢し天然産品各府縣とも追
追流行を極むる爲め文部大臣が就學兒童に對し強
制種立を施行せしむる方法を學校衛生講習會に
諮問す 若し本邦に於て現行の制度なき

●爲り結局獨逸にて千八百七十四年四月八日發布せ
し法律の明文に依り強制種立を施行し居るもの
●參照して適宜就學兒童の種立方法を定むる等其獨
逸の法又は左の如し
●第十五條生徒に強制種立を施すべし學校長は生
徒の入学に際し第十條に掲ぐる證書を提出せし
め本邦規定の種立を受けたるや否やを檢定すべし
●學校長は生徒の在る中に於て第一條一項に依り
種立すべき義務を生じたる場合に於ては生徒を
種立し此義務を完了せしむるに務むべし
●本法規定したる理由に依るにあらざらずして種立を
怠りたる者は學校長に於て其施行を督促すべし
●學校長は種立未済生徒の明細書を作り毎學年未
より四月前に於て之を管轄官廳に提出すべし
●電話の詐欺 此頃電話工天林の男電話架設を
口實として諸所より金を詐取る者あり先頃未
其手にかかりたる者多き由なるが今彼が詐取の手
段なりと云を聞に明治廿六年後に於て電話架設を
出題したる者の家に於て自分は電話局の二等工夫
なるが自宅の電話架設出題は何年何月ならば今何
年を經過せざれば架設せられざるべし尤も自分は
電話架設を願ふとし居るのならば御依頼に依て
は向三ヶ月に架設する様致せし夫には電話加入
人名簿並に金額の代價として即金にて若干圓を受
取べし勿論秘密の仕事なれば他言は御無用なりと
云にありと云又其男の服装は巡査の古服を著し袖
口に赤の布片にて電話工夫の徽章を付け道行く時
は其袖口を折返して之を隠し家に入時比之を顯は
すなりと云云油断のなるに時なるかな
●昨年末現在の鐵道 其前に於て調査せし昨廿
九年十二月末本邦現在の官設鐵道及び私設鐵道の
總資本高并に總哩數を問ふに全國官設及び私設鐵
道會社の總哩數は四千六百九十哩餘其資本金
二億六千六百六十六萬九千四百六十圓にして假免
狀下附中の總哩數は千五百四十三哩餘其資本金
は六千九百八十七萬五千圓に及び又私設鐵道出願
中に係るもの總哩數は一萬二千三百五十一哩餘
資本金六億零六百九十九萬八千二百七十四圓に達し
居る由なれば今之を合算して以上の總計を示せば
●線路哩數の總計は實に一萬九千九百四十六哩餘の遠
距離に涉り資本金の總計は九億七千三百六十九萬
八千九百九十九圓の巨額に達せりと云ふ

●貴嬢紳士の香料
●人造麝香
●大瓶價六拾五錢 小瓶價三拾五錢
●新小瓶價二拾五錢 其他香具原料に
用ゆる七五五分入及び改裝入り
●用ゆる人造麝香の純國製造より持粉精
製したる比類なき純國製造より持粉精
入し他比類なき純國製造より持粉精
香を放ち方今昔く天下に高名を博したり常に
此人造麝香を携帶せられれば悪臭を防ぎ
●他人が對し身の清浄となり惡臭の感傷を預防
●衛生的氣味品あり御求むるに近來處々に
●類似の氣味品あり御求むるに近來處々に
●東京日本橋區伊勢町十七番地藥種問屋
●特約發賣元 星野與兵衛
●電話本局九百三十九番

●パイプ製造元
●ライスベーパー各種
●薄荷パイプ材
●船來パイプ問屋
●東京日本橋區
●通町四番地
●菅谷爲吉

●發賣本舖
●東京日本橋區
●本舖 東京淺草橋際 阿部花朝堂謹製園
●標商録登
●持券發賣所 東京小問物商會各店に所産あり

▲水産博覽會事務局告示

第二回水産博覽會事務局告示第六號
明治二十九年勅令第三百九十九號ニ依リ明治三十年
九月一日ヨリ十月三十一日マデ兵庫縣神戸市ニ開

第一條 博覽會場 兵庫縣神戸市市橋町
第二條 水産博覽會場 兵庫縣神戸市市橋町
第三條 水産博覽會場 兵庫縣神戸市市橋町

第一條 博覽會場 兵庫縣神戸市市橋町
第二條 水産博覽會場 兵庫縣神戸市市橋町
第三條 水産博覽會場 兵庫縣神戸市市橋町

第一條 博覽會場 兵庫縣神戸市市橋町
第二條 水産博覽會場 兵庫縣神戸市市橋町
第三條 水産博覽會場 兵庫縣神戸市市橋町

第一條 博覽會場 兵庫縣神戸市市橋町
第二條 水産博覽會場 兵庫縣神戸市市橋町
第三條 水産博覽會場 兵庫縣神戸市市橋町

第一條 博覽會場 兵庫縣神戸市市橋町
第二條 水産博覽會場 兵庫縣神戸市市橋町
第三條 水産博覽會場 兵庫縣神戸市市橋町

第一條 博覽會場 兵庫縣神戸市市橋町
第二條 水産博覽會場 兵庫縣神戸市市橋町
第三條 水産博覽會場 兵庫縣神戸市市橋町

東京府令第八號
協同會ニ係ル事業ノ改良進歩ヲ圖ルノ目的ヲ以テ
十五日以前ニ當ルニ提出スルモノハ附付シテ

一名 資格及區域 一 目的及事業
一 役員ノ氏名 一 事務所ノ位置
前項提出ノ後役員ノ更迭事務所ノ移轉ハ其都度會

東京府令第九號
協同會若クハ其他ノ團體ハ同府令ニ準據シ本年二月
十五日迄ニ提出スルモノ

資本金(鐵道) 三〇〇,〇〇〇 銀行 三〇〇,〇〇〇
資本金(會社) 二〇〇,〇〇〇 銀行 二〇〇,〇〇〇

專賣特許 二八二三號 發明者 近藤清次郎
●パテントマイル 特性 ●透明無臭 ●華士三百七拾五度

一香 蠟 (養付梳油) 依頼者 近藤清次郎
本品ハ桐木ニ淡黄色無臭ノ礦物性油(パテントマイル)ヲ混合煉製シタルモノ

以上列記スル如クナルニヨリ製造家諸君ニシ
テ特許權ノ割讓ヲ望マル、方ハ申越アルベシ

大坂市西區中通り二丁目九十七番邸
近藤 藤井 恒久
東京市京橋區南佐柄木町四番地

東京市一手販賣
東京市神田區柳原川岸廿二號地
近藤 藤井 恒久

親玉 牡丹 發賣元 東京銀座車馬止 佐々木玄吉 衛生
大販賣所 日本橋區馬喰町二百目平尾賢平 日本橋區通油町村田藤七

●金融の前途及現況 金融の繁盛は政府の財政計画如何と日本銀行の營業方針如何とに依り變ずるのみならず、事業の盛衰貿易の消長及び重要農産物の豊凶に依り動かさるゝを以て前途を豫想するは頗る至難の業なれども之を既往の大勢と現今の趨勢に鑑み、前途資金の需用如何を推せしむれば、政府の財政計畫中最も世人の注目する所に於ては、金融界に至大の影響を及ぼすべし。故に事業公債六千萬元は政府は出来得べきだけ民間の市場より募集する見以なれど、己むを得ず、預金を利用して、國庫自ら其募集に應じ、以て一時の融通を爲す所定なり。云々へを事業ならず商業振はざるの結果資金の需用減少し金融緩慢の場合に及ばば政府必ず其機に乗じて事業公債を募集すべく日本銀行の方針も戰後通貨の膨脹に過ぎ其結果物價騰貴、事業勃興となり一般の購買力を増し貿易の逆勢益々大ならしむたるを以て現今の兌換券流通高を最高額とし徐々資金の回収を努め、後若し一般銀行の金融緩慢となり利子を引下ぐるの時あれば、同行は之に反し日歩を引上げ兌換券の流通高を收購し、漸次戦後の經濟界適當の程度に復らしめ、池田會社が自然淘汰に任せ基礎確實なる真正の事業を發せしめんとするにありといふ。而して昨年来資金の需用最も多かりし彼の鐵道事業の計畫の如きは、昨冬以來金融緊縮の爲め其進行の熱度自ら冷却せしむ。雖も既に工事中のもの及び工事に着手せんとするものを合計せば殆んど千五百百哩の多きに達し、將來之に要する資金も莫大の巨額に達すべく、又海外貿易も目下内國一般不景氣の爲め輸入品の買行掛やしからずして、今尙倉庫内に堆積し居るの多きを自今需用口の外約定物に掛かるべく、努力輸入貿易は振はすして、輸出に好望を屬すべし。雖も亦軍備擴張、航路擴張、鐵道及び紡績事業の計畫、其歩武を進め棉花其他の製造原料の輸入と政府資金の回收とを爲す間に外國爲替相場下りし、自然輸入貿易を獎勵するの傾きあるに依り、是は適合せば本年も亦輸入超過は避くべからざる勢ひにして、他新設會社株金の抽込等ありて、前途資金の需用も多額なるべし。然れども亦一方より觀察すれば、鐵道事業

と雖も適任なる技師の缺乏と材料供給の都合もありて一時に多く布設し得べきものにあらざれば呼聲の如何に大なりと雖も、敢て驚くに足らず。棉花輸入の如きは、其中の幾分は棉絲となりて再輸出を爲すものなれば、是亦要するに足らず。且昨年米諸商品の仕入れに要したる資金の如き、自今仕入を努めずして賣却さるれば、有様なれば其買行に隨て銀行へ資金の回収するも、掛ならざるべく輸出重要品たる生絲の如きも、格安もの絶えず買行ありて市中在荷も減少の一方なれば、是等の資金も徐々回収せらるべく、自今軍備擴張其他に關し、政府より民間の市場に支拂ふべき資金も莫大にして、特に政府と日本銀行と預金、預金協定を決済となつたれば、前途資金の供給増加すべし。望みなきにおらず、如斯く前途資金の需用著しく増加すべき特別の事情俄に起らざる以上、將來も現今と異なることなく、需用供給平均して銀行の割引日歩も一割内外を維持し得べく、殊に現今は、府下有力の各銀行なども手許餘裕あるに拘はらず、前途を見越してか其人と擔保品の如何に依りて貸出しをせしめ、信用ある人と確實なる擔保品なれば、喜んで融通を與へんとする有様にて三井及び第一の如き、昨年来警戒を加へつゝありし結果、遊金を生じたるや、に近來確實なる物品の割引日歩は二錢六七厘より、人に依り五厘位迄貸出し居るに反し、常に此社會に勉強家の聞えある、第百は將來の市場に對する警戒にや、割引は二錢八九厘掛みを唱へ、又三井及び第一百十九は從來他の銀行にて引上げたるに、做はず年五分五厘を最高程度として維持し居るも、華主の氣受け悪じとの口實を以て目下金融界の小康を利用して、預金を獎勵し將來の金融界に活動せんとの方針なるが、此程より預金の利率割合を引上たれど、商品に對する割引日歩は二錢六七厘にて貸出すの現況なり。要するに金融界目下の形勢にて、適當資金の供給多きに過ぎ、隨て金利の低勢を見るは、殆んど望みなき。如し去れば、近時株式市場に於て、株式相場の小高ありしに、恰も死に瀕したる患者に、皮下注射を爲したると同一にして、全然恢復すべきものにあらずし、少しく引戻せば、忍び難銀行の處分の或は株屋運

登錄

●此藥の効は生糸、絹、織物、工女の業には必用の品なれば、此藥を御注意され、
○此藥の効は第一、水虫等、癩、疥癬、手足を湯水にひたす爲に、生糸、織物、又洗滌、
○此藥の効は、たゞ適宜にての平へ取分ひ、しめかけ、あかきれ等に、臨塗、附べし、
○此藥の効は、たゞ御用の御かんざしのみ、かき、かき、かき、かき、かき、かき、かき、かき、
○此藥の効は、たゞ御用の御かんざしのみ、かき、かき、かき、かき、かき、かき、かき、かき、

山田篤三謹製

鹿印煉齒磨

眞實佳味ニシテ衛生上
最効能アリ使用後精神、
爽快ナルハ本品ノ特色ナリ

東京馬喰町二丁目(電話九三三)
東京馬喰町二丁目
長瀬富郎



花王石鹼

花王石鹼は皮膚の美艶を増し且衛生上大に
(特功あるは已に需用者諸君の實験の如し委實は本品に能書を附す)

花王石鹼は宮内省○陸海軍○帝國醫科大學○其他各病院
の御用を命せられ夙に内外需用諸君の高評を博し且第四回内閣勲章
博覽會に於ては有効一等賞牌 全國五二會品評會に於て銀牌を受領す
運伸祖製の類似品有之に付花王石鹼登錄商標及長瀬富郎名義に御注意の上御求を乞
製造發賣本舖 東京馬喰町二丁目(電話九三三) 長瀬富郎
市内の勿論全圖到所有の和洋小間物店及賣藥店に大販賣所有の候間最寄にて御取次を乞

●第二色を白くし美艶はたど
び。さ。ひ。の。類。は。た。だ。の。か。れ。切。て。皮。膚。病
定價一個金拾貳錢
相箱三個入卅五錢



の買集りも出で、再び不振に陥る。金融界に於ける大勢の然らしむる所にして亦偶然にあらずと東京朝日新聞云へり

●生業事情 林北地捕獲業者の調査に係る同管内南仔脚社及び和社生業の事情を掲ぐれば左の如くなりと愛知總督府の報告に見ゆ

番社の組織 該地方に於ける番社は通事社丁、土目、番丁を以て組織せらるる通事は番語を解する土人にして番社以外の交通利便の地に居住し總て番社より産出する物品を收購し彼れの生活上必要なる物品と交易を行ふ通事以外に番語を解し交易に従事するものなきを以て其事概至らざるを以て適當の利益を占む社丁は悉く番地に居住して通事の使役に属し其要求を番社に傳へ若くは社中の労働者を使役して交易品の運搬に従事す土目は所附社長にして社内一切の事を指揮監督し土目事ある時は番丁を率ゐて其衝に當るべく監守し土目たる者は性來の精力に富み公平にして且剛膽自ら衆に勝るの技藝を要す而して之を操縦する方法は未だ判明ならず或は世襲の如き跡なきに非ず番丁は社内一般の番男を稱し狩獵其他の業に従事す地形 南仔脚社は深淵に沿ふて山麓の稍々平坦なる部分にあり東西北の三面開通し北方は山を負ひ其近傍二十丁乃至一里内外は一圓若花たる茅野なるも其居住地凡十餘丁歩は四圍鬱蒼たる樹林地たり溪谷には多くの西蕪生育し平坦部を開墾して耕地を成せり又和社は南仔脚社を去る一里半餘の東南位に在り東南西の三方に山を控へ北方のみ開通す居住地及茅野開墾地等の状況は大抵南仔脚と大同小異にして其居住地より耕地に至る間二十丁乃至廿丁、茅野を掃て四五尺幅の道路を開通するも其以外は一尺幅位の小道ありのみ和社の居住地の平均約五丁の所に小河あり長七八間もあるべきものど溪谷に到る處清水湧出じて水田其他開墾地に適す所少からざるも移住殖民地に適する程の廣漠なる原野を有せず

●生業事情 身体強壯の男子は凡十四五歳の頃より執り皆毎日銃筒刀槍若は弓矢を携へて狩獵をなし女子及身體弱なる男子は農業に従事す又女子は農家の隣接電を以て山野を跋渉して木菓草實を探集し製糖品及び調味食物となす男子は手綱を以て川

●生業事情 狐を捕獲し又老女は麻を紡て番布を織り一人として徒食する者なし而して耕農の方法は唯地均をなす播種するに止り畦畝を畫し肥料を施す等のことなきも陸稻及落花生の如きは收穫割合に多く殊に落花生は通常の粒實に比し其大殆ど五倍せり作物の種類を陸稻、粟、落花生、唐瓜、苦瓜、芋、番薯、陰元豆、芝、麻、芋等にして總て耕作は一社共同の事業に屬し其收穫物を分配する仕組なり

●生業事情 家屋 住宅は家の中央の棟に沿ふて數本の丸木を立て四隅には不規則に丸木並立し棟より四方に結合する粗梁の支柱となす敷地は概して方形なるも楕圓形若くは不規則なる圓形をなすものなり屋根は茅にして葺き簷を以て結合す稀には粘板若を以て茅に換るものあり四隅を偏茅簷を以て圓ひ絶て窓を装置せず入口を前後二ヶ所に設け簷を垂れて開閉す内都は其四隅に沿ふて高七尺横九尺内外に簷を以て圓ひ其内に梁を裝置す梁架は茅亦は竹を以て造りたる床又は片板を高二尺位なる竹製の梁架に乗せ十三才以上の男女は各其梁架を異にして彼等の區別甚嚴なり而して中央部に以て簷を設け日夜盥洗をなさし一方に籠を構つて炊事の用に充つて夜寢庭には炬を備へて穀物積揚の用に供す居室の外恰も俱樂部の如き長十間幅四間半位の廣堂あり四圍の屋根際に沿つて一條の簷を廻し之に麻房を造り其一端を蔭色に染たる七五三繩様のものを掛けて東方（家の方位東に面す）一間半許の間は其二三尺位に板若は他の木材を以て床を張り其他を悉く藤床となす中央に爐を穿ち東方板床の兩端は猪骨若は鹿骨の類を串して裝飾し且石斛を排列せり（石斛は彼等以て神草となし非常に貴重する草なり）又東南隅に茅にて造りたる堅横各六尺許の籠を二つに折り懸け其中に白骨（南仔脚社に二個和社には數個ありし）を安置す其傍に一種の標札（無論文字を記すに非ず唯赤色を彩せるのみ）を結び未だ何の意たるを知らず此廣堂を一家の共有に屬し十四五才以上の男子に於て無妻者の合宿所たり彼等は鹿皮及幅三尺長六尺の番布各一枚宛を腰具に宛て腰懸袋は一同廣堂に來集し就眠前は大聲を發して番歌を詠ひ未明に起きて謡歌しつゝ自家に歸り各其業に就くものとて廣堂に如何なる女子を離來進するを許さず彼等の社會に於ては男女の別を正しくするのみならず女子にして廣堂に上るは神聖を損すべしと思はるるが

顔の艶を白美にする妙劑 ●米國大醫ハナッソシ氏發明



定價 大瓶廿錢 中瓶拾錢 小瓶六錢

●男女共願の色を白くきめをこまかににだにかみをおいて眞に艶色となす神藥 不思議は三四日間用ひて必脱け治し日にやけることなき

●本舖町三丁目十二 森下喜野

特約代理販賣所

- 東京 藤田盛眞堂
- 全馬鹿町二丁目めさし本舖 金人城
- 全横山町二丁目牡丹精本舖 田中花王堂
- 全橋町四丁目 丸見屋号 三輪善兵衛
- 全若松町七番地小間物問屋 富岡初太郎
- 全兩國米澤町五福園本舖 大木口哲
- 全瀬戸物町寶樂御問屋 玉置金八
- 全銀座一丁目第一品問屋 佐々木文兵衛
- 大坂市南區南船場三丁目 山本勉強堂
- 全市心齋橋通三丁目 森 玉林堂
- 全車道橋通二丁目八幡筋 仁壽堂分店
- 大坂市心齋橋三丁目 森 玉林堂

●石の外三府各縣地方至る處大信用なる

和洋小間物店又は藥店にて特約代理發賣致居

第四回新發明專賣特許 雲井織

御婦人用 花元結手巾 金入り

製造 元 坂根兄弟商會

販賣 元 加納作之助

發明製造せし前代未曾有の織物にして今其體裁と物とを以ては從來に三浦絞に非ず又絞も以ては縮りたる一種の新發明に依て頗る可憐に之を織成したるものなれば假令清水にて之を洗ふ時は再び元の美麗に立戻るのみならず原質を損じ洗ふととも夫が地質を損じし縮變色等の憂ひは決して之を免れ流行格も廉し経済的且其色も流行季節向何れ御好み次第何卒一度御試用の上陳御印生文の程伏奉願

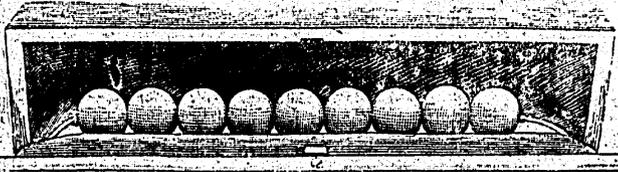
東京發賣元丸見屋善兵衛

特約大販賣 天野源七

特約式販賣 森末支店

特約東京小間物問屋各店

專賣特許人造珊瑚珠



今般弊舖に於て發賣仕候
多人造珊瑚珠の價は製作者
の明瞭なる特許の榮を得
た者にして實に純粋の
如く玉に似たる古
珊瑚珠の性質に無
きもの玉に似たる
に化學的作用を以て
に用ひし人令此方の
需用せらるゝも決し
て此の品にあらざる
に其の價を分る事能
し何れに精巧なる
色に似たる無相成
る程に御用相成ら
ず自然光澤を相成
るは珊瑚珠と相成
るは作りに似たる
仕候等は一に實に
仕候等は一に實に
仕候等は一に實に

(注意)
弊舖發賣の專賣特許人造珊瑚珠
は高價に賣り上り候に御座
り下谷並に神田所屬に御座
り玉類一類
○五分玉
○四分玉
○三分玉
○二分玉
○一分玉
○五分玉
○四分玉
○三分玉
○二分玉
○一分玉
○五分玉
○四分玉
○三分玉
○二分玉
○一分玉
○五分玉
○四分玉
○三分玉
○二分玉
○一分玉

商標登錄御免許

本日(大)一流
御茶師
東京府の志保町
大和屋小五郎

TRADE MARK
金城道人
精製
香
大和屋小五郎

小問物化粧品各種
花王洗粉
自慢
野大五金五郎

一弊舖製造の粉義元祿創業以
來江湖諸彦ノ御信用ヲ博シ販路益
隆盛ニ相成候段奉謹謝候然ルニ
頃弊舖商標ニテ偽造シ粗悪品ヲ販
賣スル奸商有之候間何卒商標登録
御免許篤卜御注意被下度願上候也
附言 取次賣捌ノ府下并ニ各地小問物店賣捌店等ニ有之
候間御座候ニテ御購求者候
弊店商品目錄御入用之御方ハ御報知次第早速送可致候

安齋永香之
香優
三日
菊印
特約販賣東京小問物問屋各店

江川商慶賣品廣告
龍甲珊瑚珠時繪物推朱彫各種
舶來最上人造ゴム無地龍甲ばら各種
舶來最上人造ゴム象牙櫛笄簪各種
本舖發賣全上總屋江川金右衛門
小問物問屋同支店

市京東
區橋本日
大
屋問品粧化
衛兵小野佐屋和大

又古まゝへ

火の用心の辨(承前) 作者不詳

立退くときにも死んで出す物類小道具手間の品を提て出るべし...

天保年間燭書の寫し(承前)

天保十二年八月廿五日 祭禮取扱掛 小口 年番 共

之儀は致間敷旨々申渡置し間組々の者比不及す町役人共迄相觸り...

御奉行所被仰渡し間具旨可存尤以來奇

右の通從 御奉行所被仰渡し間具旨可存尤以來奇特者等有之...

同十月十一日 南北小口年番 共

天保年間燭書の寫し(承前)

山王神田祭禮之節提出し練子其外練子天幕練子切込みの儀其外...

一 一ヶ月高滑刀はと板の類金物並俗用ひ申間敷事...

今様東京流行とうまん入まけ形製造廣告



燈具入 自慢形 壹個入美施 なる箱入 とうしじまん形...

帝國堂營業化粧品割引定價表

Table with columns for product names (e.g., 一キレー水, 一キレー石鹼, 一音羽菊), prices, and discounts. Includes a section for '製劑取引店則'.

山崎帝國堂商店 東京市神田花房町電話本局四百三番

入候て小袖一ツに付銀三百目銀換小袖
表一ツに付銀五百目を獲り夫より高直の品
實買致問敷尤難子も右に準じ可申事
一町八共一統に花美の麗無之様致し自今町人男女
共は分限相給結納の品若用いたし亦は髪のかざ
り等迄大造成相用候者有之候へ相の者見
懸次第右所名所相和町役人爲差直に奉行
所へ召致致味候間左様に可相心得事
一樽并差直の類分勿論不相違難申工入組
高直の品相止相代銀百夜を限り并差直に準
じ下直に仕込可申事
但髮結に相纏の色切をこしらへ又は女の用ひ
候はる物等諸等高直の品買致問敷候事
右之趣取實買致度并其後相願候趣も有之候處累
年世上花美に相成給身分をも不立派を就ひ且
又外見不自立候にても内實高直な品を眼に買
買いたし候者共右之由に候たとへてもこの
品に無之候とも度々願願候趣を然坐の事の様相
心得候より相願候間左様に可相心得事
に候はるは過の儀は別別、御免を以先御答の不
被及御沙汰候條難有存今般願、御主意を以風
俗改め候様、出候條に御心相心得可申候尤
是迄仕込置候品も有之候に付來寅年より急度停
止たるへ候條、御願候者於有之役人相
願し穿履無用掛置敷可申付候尤、敷改め方
いたし候者或は途中にて往來の者を御改め候條等
決して無之候に候若右休之者有之候は、其者を留
置早々可申出候自今者修高直の品武家方に候其
談候者有之候へ、奉行所へ相願可任差置候
右之趣は武家方へ被、御出候間此旨町中不洩
様可願候也

●旅眼石 十五卷一
ことじつもの木つた俄にしもあらずねも
ふことありて、常陸、しもつふさのうちなる、
鹿島、香取、息栖の、三つのみやまに、詣では
べらんぞ、旅のまうけあまらまじしものし侍り
て、なには江のよしのあしども、おひたつ日
を、さきにちとどまじつ、鳥がなく、あづまのみ
や、このどになし、玉くもけ、ふたつの國の橋を
わたり、立川をますくに、はう竹のしもをす
りて、やがてさかさいのわたしを、あなたにこへ
て、たざり行はると、朝もよる、如月ちかく、所
まならにさへこの、野つらの雪に、若くもの
と青く見へたる、うつはの聲、はろくぞとこ
へて、糸あそふ空のうら、かなるに、おのれさ
の、このうら、か、る雲もなくて、くはへせる、
は、か、るべくもあらば、すも火打はなたす、た
はこのけふも、霞むかどおほゆるばかりになん
ば、やくも、市川の御願所をうらむけるに
我ながらうらむく見あるあしもと
これわつらへの船のたびたち
舟はものたりより、遊づれになりたる人、お
なしたはれ歌の道にさく、願の直成といへる人
のよし、これかれをかたり合つ、行儀のほどに
いたり、無道といへるに、やすらひは、る、こ
う、さん、の、名所に、ゆき、の、人、あしをといめ
、う、さん、をば切、たう、さんと、せちに乞ひあへ
れど、うらむるもあるとひと、いまだをこの
しらへ、はてしもあらず見へば、れば
御ていしの手うちらうとん待かれて
つれも言となぐのばせり
さ、屋のあるし、あやしげなる色紙短冊を出して
、子に歌かけよと乞ひはるに、まてよみ置たる
歌をもかきとせつ、其包たる紙のはしに
歌かけ色紙短冊出されし
これ七つの、やなるかも
あるじまた、歌せよと出したる歌に
てんてん、玉柳とて花にと、いふ
枝、の、を、はらひとせし
(以下同出)

都の花

天下無比衛生的顔料優等化粧品
芳香馥郁白美艷麗頗有效靈妙奇劑

製造發賣 東京市日本橋區馬場町 東京莊園堂 齋藤泰助

煉白粉價 金六
金三十二
金五十二
水白粉價 金十
金廿

木津常吉

精製物品

井煙入葉
手提草葉
學校靴靴類
摺劍道具類
新行專
形屋同賣

東京市日本橋區馬場町

ライオン齒磨の特効

SANTARE DENTIFRICE
LION
TRADE MARK
YOKOHAMA
TOKYO & C^o

本品は化學作用により多年實驗して好成績を得た
るに依り一層原料の良質を採擇して精製したるも
のなれば従來世に行はるる普通齒磨と其質を異に
して香氣馥郁として口中の汚物と臭氣を去り齒質
を鮮白健全な**世界無比**にして且歯品を常
に磨れ齒肉を治し總て口中一切の病を思はるる無
と疑なし是れ本品の特効なま仕湖の諸君々々
用の上務高詳あらんとぞ

東京市神田區原川岸三丁目
電話花四九六番
東京特約店 **小林富次郎**
横濱市常盤町二丁目
横濱特約店 **中村商店**
日本橋區通町
日本橋區船場二丁目
村田藤七 **安藤井筒堂**
日本橋區地江町二丁目
平谷會社 **佐々木玄兵衛**

餘興

山中 青山 松風堂
かきりなきはるの名こりをいひし
花を見すて、かりかねのゆ

小間物商報の降盛を祝して
岡山市 堅田可成

芝居 横濱 可秀生
日通番頭と云や、仲りまだ歸りせんか

芝居 横濱 可秀生
日通番頭と云や、仲りまだ歸りせんか

窓から煙を出して、大變な立腹です
怪にも困るから前から見え見して見て呉れ

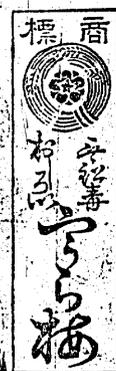
俳句募集

雪中華蓋志宗匠撰
當季五句合(入花三錢二より二錢)
題 柳 雪 雁 初午



弊店義年來名古屋製造販賣能在各地御得意様御愛
顧ヲ以而益業務盛大ニ相進候段難有仕合社員一同奉
謝候扱一昨明治廿七八年戦争凱旋以來御祝品トシテ

平谷合資會社



八錢、拾圓、廿錢、特別對 卅五錢
水入 錢、十五錢、同 卅五錢
○此うら梅おしろいは真正無鉛毒製にし

發賣元 日本橋小橋町 赤心堂
發賣代理店 東京橋山 田中花玉堂
特約 京橋區銀座三丁目 松澤 八右衛門
大阪 日本橋區濱戶物町 玉澤 金八

ちまのあかーら
ちまのあかーら

◎價格低廉賣方最多數ナルハ乙女肌也
 ●全國無限ノ和洋小間物賣藥店に販賣仕候

較比質品且意注御標商乞有品造偽ハ或造摸
祖 だのい花洋西 元



特別割引

一具定價 三員入
 金一銀 一員入
 五兩以上 三六銀
 六兩以上 三六銀
 五兩以上 三六銀
 五兩以上 三六銀
 五十箱以上金看板
 一枚無代呈上ノ
 看板離形五分ノ

知に候新現御販賣者に在てハ夏期に致り

腐敗變色或は香氣消滅等の思ひ有之候に御注意有之候
 得共本品は從來の花袋又は同種類の模造品と大に製方異な

◎品質純良芳香馥郁ナルハ乙女肌也全國一手發賣元
 東京山崎町三丁目 田中花王堂
 此乙女肌は冬期の販賣品とのみ御承知の御人有之候に候得共本品ハ白粉下
 用ひて最も有効なる製劑なれば夏冬共御使用あれは皮膚の軟
 密に光澤を顯し且つ多量の人造麝香を配合すれば使用後香氣
 馥郁として白袋を携帶するが如くなれば夏期に致り候共
 續々發行あるは發賣以來御販賣諸君の既に御承

全國特約大販賣所

東京油町	丸善	近尾	森本	大木	脇田	龜田	柏善	岳善	江川	三善	萬金	馬屋	富岡	大野	尾井	武置	大木
佐小町	伊勢	大宮	駿州	名古	遠州	大野	伊勢	高知	馬關	熊木	常州	野州	宮城	常州	野州	川島	福島
屋	常	清	久	新	重	田	井	井	井	井	井	井	井	井	井	井	井
工藤	井	井	井	井	井	井	井	井	井	井	井	井	井	井	井	井	井

此みよー野の「ちまのあかーら」は世界無毒
 性白粉の元祖にて専ら責任を帯び着質
 の製造を爲す者に候間御安心の上御注
 文を乞ふ

販賣店 東京小間物商組
 合各店
 關西特約店 寺澤三久堂
 特約販賣元 ちまのあかーらの園

農商省特許專商標



殘寒却而覺凛冽候得共各位愈々壯
榮欣賀此事に候陳者豫ても懇情を
蒙りも隆を以て日月に隆盛を極め
罷在候弊舖製造ぬかがらす之儀近
時物價の非常に騰貴致候折柄にも
拘らず依然卸直段を据置にし且品
位を精製致候結果に從前數倍
するの注文を委ふせられ候段難
有奉謝候就て洋製の器械備付以
來製造に於ては萬々差支無之候得
共唯仕揚の一段に當り兎角職工の
手廻り兼候旁々此先益々注文の
相當み候に至ては或は出荷の延引
する都合等も自然出來可仕と奉存
候併し目下の處にては精職工を
奮勵斷るは差支は必らず致さ
る様略々準備整頓は仕居候得共萬
一右様の儀有之候ては折角の厚
意に背き甚以て遺憾の儀と坐候
間何れ此意も汲取被成下後全
く品切に不相成候内前以て御注文
書御差廻被下候様仕度此段御得意
様御一同へ豫め謹告仕候也

支舖 東日本橋區本町一丁目 益田第一堂
本舖 大坂清水橋 益田第一堂
本舖 西ノ庄角 益田第一堂

製造元 森川積善堂
本舖 丸見屋善兵衛



調劑舖 天沼町 比留間民藏
特約大販賣 天野源七



今般父贅平死去致候
處各地御得意諸君よ
り電報又は御郵書を
以て態々御弔詞を賜
り候段難有奉存候就
ては一々御答禮可申
上之處全國多數之御
方々殊に混雜之際に
も有之候旁々略儀紙
上を以て茲に御厚禮
申述候敬白

明治三十年二月五日

男 平尾貫一
平尾銚也

昨日故平尾贅平葬
送之節は遠路之處態
々御會葬被成下難有
奉深謝候混雜之際御
尊名伺漏も可有之と
存候儘略儀ながら紙
上を以て御厚禮申述
候敬白

明治三十年二月五日

男 平尾貫一
平尾銚也
親戚一同

新製麝香煉石鹸

近來種々様々の石鹸ありと雖も未だ完全の品に乏し因て弊舖の國家の爲
め之を要ふる事久しかりしが今回醫學士藤博士等孰れも當世に於ける新
道専門の大家に謀り猶は弊舖が多年の経験によつて發明したる新製の秘
密品をも併用し遂に此天下無比純良最佳の石鹸を製造發賣せり勿論理化
の作用より成りたれば其功効の不思議なる事一々枚舉に遑わらず委ま
くハ配して現品に添あり殊に芳香の濃郁たるハ遙かに梅櫻桃李の上にあ
れハ當に之を用ひて皮膚病の預防となり又之を懐にして匂袋を代用す實
に近代の稀品なり一度御試用の上多少に拘らず續々御用仰付られ下され
ん事を備へに願ひ奉る

東京市日本橋區馬喰町二丁目

麝香煉石鹼類製造發賣 淺井支店

毎月十五日廿五日三回發行金壹圓五厘一
少年分前金五十圓(全額返還)用紙別紙
印刷 八 後 廣 清 之 助

東京朝日新聞



○偽物あり御用心 骨皮道人

偽物あり御用心。粉らしき品も珍ならず。能くく偽造品の上御求りなご云々。昨の、専ら諸商工の製造販賣上に於て、自家の製品を保護するが爲めに必要の諸の思ひ居りしに、意に圖らんや人間の偽物が出来て、然も骨皮道人自ら骨皮道人を保護せんが爲めに、偽物あり御用心の一言を以て各地諸君の御注意を促さざるを得ざるに至つて、初、亦奇好奇手馴なる世の中と聞ふべきなり。元來諸商工諸君の御注意には、專ら意匠商標保護の如き、各々夫々の條ありて政府之を保護するが故に、若し是が偽物を造り出品を賣する者あらば、忽ち捕へて打殺す。其逆打殺す罪には行かざれど、直ちに訴へて相當の處罰をせむるの權利あり。然れども我々の交遊社會に於て常用する。筆蹟若くは別名なるもの、別に政府の保護あるにあらば又法律上の支障を受けるものにもあらず。勝手には骨皮道人と名乗る諸方を排拒する者あるに困るなり。現に先づの臺灣新聞にも骨皮道人の名を附したる寄書ありたりとも、小生は斯の寄書を爲したる事更に不ければ臺灣にも骨皮道人と稱する人のあるるべく、又此程友人花崎某が筑前博多に到りたるに、東京より骨皮道人が来て居るとの話しを聞込みしより、友人の手に骨皮道人の近頃小間物商報編輯の爲め非常に忙しさを極めつゝありて、近頃より、の招待を、へ謝絶して居るとの事のみならず、ソノ五六日以前面會せし初に、並て旅行するやうな話しも聞かざりしが、夫とも何か急用の出来しに此地に來りしや。若しも道人が來て居らば、旅中の徒然を感ずるに、彼我共に思ひ掛けなき幸ひななり。取勝も取らず早速彼を治せざる旅亭に、至りて、東京より來て居る西澤と云ふ人に問會し

度しと云ひしに、左様な人な御座すと云へ、依て更に骨皮道人と云ふ人の存在して居るかと尋ねしに、其先生なら、彼を在りませんと、事よ、彼は西澤が本性を秘して居ると見え、其を骨皮道人に面會すれば事應に別然とすしと云ひ、其骨皮道人に骨皮道人であるとの二枚の名刺を出して面會を求めさるゝの面會の儀は平に謝絶せざるを得ず、是に於てが某以爲らば、他種に於て故國の人に違ふの故國に居て知己朋友に逢ふより、痛しき事あり人情の常なるに東京の人と聞て却つて面會を斷絶するとの、最も痛しき事なれば、事ともなりと更に其年輩人体等を尋ねるに、年輩、殆んど六十歳前後にして、人休、大且つ長き髪ありとの事より、其大いに驚嘆もしつゝ、呆れつゝ、夫れや、全く偽物の骨皮道人である。其等の主人にも注意を加へ、酒は同地の知人及び新聞社等へも夫れを報告して歸りし由なれを、此頃九州地方に骨皮道人があると思へるなり。 (未完)

▲米國新大統領の施政方針

ワシントンワシントン氏に代りて新に大統領となる可き、ウィルソン氏が就職後に於ける施政方針の綱領なりとて公する所は左の如しとなり

第一 海關稅の稅則を直に改正す可きこと但し此改正を爲すに當りて平和なる保護主義を主とし、極端に稅率を高めて專有の風を助長し又は政府に相當の歳入を收むるを妨ぐるが如き點ならんとを期す可し

第二 外國と締結す可き條約に就ては、ワシントン將軍が大統領たりし時の相互主義を復活す可し

第三 國內に流通する都ての貨幣をして金貨と權衡を維持せしむることを期す可し

第四 州府に於て合衆黨の議決せる黨綱の趣意に従ひ國復本位制の實行に力を盡す可し

第五 政府は總督制の消却に使用したる剩餘を國庫に生じたる時は早速これを行ひ、餘の通貨を以て代ららしむること、し公債を發行して此事を實行するが如き抽策を適可し尤も金貨本位の基礎を固うする爲め、銀行紙幣と大衆省証券を銀行準備金中の一部に用ふるを許し、以て此二者を消却するの策を施すことある可し

第六 國立銀行の制度を更に擴張し、市府の銀行を以て小都會に其業務を廣げしむることを期す可し、其結果自から地方の金利を低降す可きのみならず、大都會に資金の集中せんとする傾向を防の効あらんとす

第七 政府の支出に對する經濟的法は、再興の事業の實行と、國庫の増進と、一致して行ふべきを期す可し

▲日獨追加條約

日獨追加條約に關し、通日來獨逸公使館書記官委員となりて時々協議會を外務省に開き、頃日は獨逸前合等の協議を爲しつゝあり、週一回位の會合にて、違からず終局せん換續なり、又現在公使追加條約の結了次第、獨逸公使は、追加條約の進行如何の專任委員もある事なれば、或は追加條約の進行如何に關せず、獨逸國するに至らんとの説あり

▲公債利子と税金

政府は民間金融の回轉を爲す爲め、毎年六月及十二月に拂渡すべき公債の利子を税金に抵替、納付することを許すべしとの説あり、頃、六月に拂取べき利金を、四、五月中に納付すべき、税金として納付

東京朝日新聞社發行所
東京小間物商組合事務所
東京日本橋區本町七丁目
東京日本橋區本町七丁目
東京日本橋區本町七丁目

●英通社白田馬三氏の多年の關連
町なる英通社白田馬三氏の多年の關連は、本所區南三葉に苦心したる甲斐ありて、今は舶來品に對して、數等優れるの良品を製出するに至り、猶ほ米國人の嗜好に適して、常に數多の注文を受けるまで、歩を進められたるも、何分目下の場合に於て、其規模の小さなが、必し恐く其注文に應ずるを得ずして、往々謝絶せざるを得ざる等の事あるに、恰かも實の山に入りながら、手を空しうして歸るの遺憾ありて、今度同工場を株式組織に改め、其基礎を大にして、益々商品輸出の擴張を爲さんと此程來り、其計畫に若手せしに、横濱市界町一丁目八丸丸、岡市辨天通、四丁目黒田重兵衛及び同市尾上町五丁目長谷川榮太郎の諸氏を始め、他東京にても、既に有力な七八名の賛成を得、孰れも發起人たらんと、申込みたるに至り、たれば、其計畫を見るも、蓋し遠きにわらざるべし、云々

●象印商會の好評
彼の日本橋區南町一丁目安藤井實堂にて、製糖販賣する「カネ」土產製糖會社は、製品の舶來に優りて、且つ價額も低廉なり、とて、此頃、各地より注文も非常に夥多し、由り、廣く人々も知る處なるが、今度川上座にて、八十日同世界一周と云へる新演劇を演ずるに、幸ひ「カネ」土產の製糖會社は、同演劇に因りて、且つ日數百圓、七代價にて、米觀者一推せし、是亦非常の噴米を博し、れば、其祝意を表する爲め、十二月親戚知己數十名と共に、最も喜ぶる贈見物を備へたり、

●熊金の流行
一時の流行の贈物として、熊金の價を生ぜし、今日、熊金を投じて、購へ、所明に、熊金に關するに至る、所に依り、熊金の流行、熊金の家宅を、買掛して、幸くも之を購ひ、求り、翌日、早も

既に枉死して一家離散の不幸に陥る者あり、山陽道は其間に立、利益を攫み、死んで止する所を知らざるより、遂に同様に、は取締規則を發布するに至りしかば、山陽道の恐慌、一方ならず、彼等が損失の同様に、下を通じて、數百萬圓に上れり、と、青年の流行を追ふて、家産を傾けたるもの、古く例しにあらざるのみ、大膽にして、

○大阪商會と帝國商會
第九號會に於て、大阪川改修工事費として、國庫金五、二千三百圓計り、十ヶ年を期して、下付する事になり、し、好む、龍舟を、用て、國を、望む、の、意、情、ハ、其、度、を、進、め、い、降、なる、神戶港の、純、然、たる、國、庫、の、目、論、見、を、超、し、今、や、帝國、商會の、協、賛、を、求、り、て、莫、大、なる、國、庫、補助、を、仰、が、んと、す、て、以、て、熱、心、運、動、す、る、人、の、あ、る、由、り、廣、く、聞、及、ぶ、處、なる、が、該、問題、に、付、し、此、程、の、高、價、率、の、左、の、如、く、轉、せ、り、

○何故に斯く、膨脹せしむるか
一、安海川、一、河、の、沿、岸、の、地、面、を、以、て、非、常に、廣、く、せ、し、む、る、手、段、を、爲、す、が、其、地、所、の、持、主、が、國、に、對、し、運、動、した、る、に、因、り、川、尻、の、沿、岸、は、淀、川、より、流、れ、出、る、土、砂、を、經、済、地、帯、の、湧、勢、に、寄、り、る、砂、の、爲、め、に、年、々、進、み、て、廣、大、なる、地、面、を、爲、す、今、や、て、西、區、の、如、き、地、帯、に、達、する、物、作、の、執、行、に、便、し、な、る、が、一、の、築、港、の、目、論、見、起、る、を、恐、れ、て、目、論、見、大、坂、人、の、事、に、對、し、其、中、の、有、力、者、の、陰、謀、を、手、を、廻、し、て、早、く、夫、等、の、地、面、を、買、入、れ、猶、舊、港、問題、を、大、に、し、て、其、地、價、を、騰、貴、せ、し、め、ん、と、圖、り、たり、是、等、の、買、入、れ、人、中、には、今、の、養、相、松、方、伯、の、親、戚、と、評、せ、ら、る、松、本、重、太郎、も、有、り、先、の、知、事、西、村、拾、三、の、如、き

も、有、り、其、他、孰、れ、も、上、下、に、對、し、て、通、手、の、脚、手、人、に、對、し、て、愈、々、築、港、成、成、の、晚、に、一、年、十、餘、位、の、相、續、に、買、入、れた、る、者、は、三、十、圓、に、登、る、見、込、に、て、此、人、々、は、坐、な、ら、ず、少、な、き、數、百、萬、圓、の、富、を、握、手、し、得、る、事、な、れ、ば、築、港、物、の、利、害、ハ、加、置、き、自、家、懐、中、の、計、算、上、り、益、事、を、煩、り、立、て、當時、京、坂、に、立、寄、り、たる、松、方、伯、にも、大、限、伯、にも、板、垣、伯、にも、猶、ほ、其、の、他、の、權、勢、家、に、も、諸、種、々、様、々、の、手、段、を、以、て、工、費、を、得、其、勢、を、張、り、し、り、築、港、問題、は、原、を、燃、く、火、の、如、く、燃、太、り、た、り、次、に、ハ、大、坂、一、般、の、人、々、が、港、へ、築、け、ば、大、坂、は、自、ら、繁、昌、せ、と、云、ん、如、き、簡、單、なる、思想、に、て、繁、昌、の、掛、懸、に、醉、ひ、た、る、に、因、り、一、番、し、關、西、第、一、の、商、業、港、は、大、坂、の、隅、なる、堺、市、に、在、り、し、其、港、は、川、の、爲、に、埋、ま、り、終、に、堺、の、繁、昌、ハ、大、坂、へ、移、は、れ、し、よ、大、坂、人、は、是、れ、を、般、論、として、大、坂、の、川、口、が、往、年、の、堺、の、川、口、の、如、く、年、々、に、進、る、を、見、大、坂、の、繁、昌、も、港、の、衰、微、と、共、に、衰、微、す、る、の、如、く、に、思、ひ、一、方、に、ハ、又、程、遠、か、ら、ぬ、神、戶、港、が、年、々、に、繁、昌、せ、る、を、見、此、處、に、移、居、か、ば、大、坂、の、繁、昌、を、神、戶、港、に、奪、は、れ、と、恐、る、深、の、繁、昌、が、大、坂、に、奪、は、れた、る、如、く、な、ら、ぬ、と、推、想、し、其、他、の、點、は、考、へ、る、暇、も、無、く、築、港、を、も、願、す、立、つ、げ、ば、築、港、の、爲、に、巨、萬、圓、の、富、を、握、ま、せ、と、推、想、し、其、の、新、地、主、達、も、此、大、坂、に、附、入、り、大、坂、の、前途、繁、昌、は、い、じ、かの、如、く、願、望、す、る、に、終、に、ハ、市、會、議員、を、破、す、る、人、の、中、に、す、ら、築、港、問題、を、以、て、人、氣、を、引、く、一、手、段、を、爲、し、之、れ、を、埋、目、として、進、め、る、もの、ある、主、で、に、至、り、殆、ん、だ、大、坂、一、般、の、人、々、を、以、て、此、の、地、方、港、を、以、て、國、庫、の、如、く、に、思、ひ、し、り、地、方、繁、昌、を、國、庫、補助、の、區別、を、忘、れ、し、り、る、程、の、勢、ひ、に、な、れ、り、(未完)

●時事新報に大阪築港に關する運動方法と題して、第一報を、今日、大坂築港問題、は、多、年、間、市民、の、希望、せ、し、め、ら、れ、た、る、眞、實、な、事、實、を、基、と、し、て、一、般、の、同、情、を、成、功、せ、し、め、ん、と、す、る、の、運動、方法、に、至、り、て、は、市民、中、に、も、若、者、少、な、から、ず、即、ち、彼、の、大、坂、市、會、議員、市、參、事、會、員、等、の、各、名、義、を、有、する、連、中、

ハ、同、問題、の、實、行、會、運動、を、名、を、し、て、公、費、を、以、て、上、京、し、然、も、其、上、京、委員、は、三、三、の、人、に、止、り、す、す、して、中、先、づ、行、き、日、な、ら、す、て、之、に、代、り、て、上、京、す、る、な、き、四、五、日、の、間、に、三、四、人、も、交、送、し、て、上、京、す、る、は、更、に、運、動、の、効、力、を、な、さ、し、め、ん、と、す、る、が、爲、り、無、用、の、旅、費、を、支、出、す、る、は、如何、にも、堪、へ、難、い、次第、なり、其、他、彼、の、築、港、期、成、會、の、如、き、ハ、勝、手、に、在、大、阪、紳、士、の、出、金、額、を、定、め、時、々、の、集、會、に、出、席、せ、さ、る、時、ハ、其、人、に、對、し、て、酒、肴、を、贈、り、給、儀、な、く、も、百、圓、位、の、出、金、を、贈、せ、し、め、ん、と、す、る、ハ、少、し、く、不、都合、に、ハ、あ、ら、ず、や、と、の、苦、情、は、昨、今、ホ、ッ、市、民、中、に、聞、く、處、な、り、と、云、ふ

●謝辭
左に記載する諸氏、其れも、當時、の、實、業、界、中、に、於、て、其、名、聲、最、も、著、々、たる、人、々、なる、が、其、熱、誠、の、溢、る、一、覽、又、我、商、會、の、同、業、者、を、益、す、の、概、な、ら、ず、と、す、る、を、實、賞、せ、ら、れ、加、へ、る、に、印刷、費、補助、として、各、名、君、若、干、の、寄、附、を、添、せ、ら、れ、し、段、際、組合、一、同、及、商、報、の、面、目、之、に、過、す、は、て、茲、に、貴、名、を、列、記、して、謝、其、厚、意、を、深、謝、す

(記名順序、不、同、御、注意)

●一、同、市、接、口、町、山、本、與、一、郎、君
日、向、南、那、珂、御、村、村、長、君、岡、本、善、市、君
北、海、道、古、宇、部、郡、長、字、佐、美、成、造、君
最、良、大、垣、町、長、小、川、新、助、君
大、坂、市、船、場、町、二、丁、目、山、中、平、兵、衛、君
仙、台、市、本、柳、町、江、刺、富、二、郎、君
岩、代、町、堀、町、九、平、合、資、會、社、御、一、同、
函、館、市、御、前、町、淺、見、嘉、平、君
北、海、道、根、山、大、森、町、高、橋、彌、吉、君
濱、町、御、前、町、津、田、繁、之、助、君
下、總、結、太、町、堀、田、太、吉、君
武、州、所、澤、町、柳、屋、源、藏、君

● 醫術上重要な新發明

去月九日發刊紐育スターツ、フアイヤンクに倫敦より電報なりて記載する所に依ればブリュッセルより電報にドグトル、マンヌはルヴァンに於て肺炎治療劑を發見し又スキャンゲート新聞に載せたる羅馬より通信にリオン、マニエロに於て熱病に際し近頃漸く全快したる伊太利人ドクトル、カッカリョーは黃熱菌を發見し之に關する總ての記事を羅馬醫科大學に呈出せりとあり又德國學者として有名なドクトル、ニーマンは結核病に對する新治療劑を發見し此血清は結核菌を侵入したる山羊の血より成るものなる由テロー、ニエュークの伯林通信に見えたりとあり

● 種痘預防 管外より東京市內及び品川町內新宿町板橋町東町千住町千代田町に轉居し又は來宿したる者は年滿十五歳以下にして明治廿九年一月以降種痘の證を所持せざる者及疾病の爲種痘を行ふ能はざる醫師の證明書を所持せざる者は二十四時間以内種痘を行ひ其證明書を受くべく又右各區域内の宿屋營業者は種痘を行はざる者にハ種痘を許さず死したる者は二日以上五日以下の拘留又ハ五十圓以上一圓五十圓以下の科料に處し右は發布の日即ち去日より施行の旨警廳令第五號を以て公布あり

● 用詞と手向句 故平尾賢平氏の遺石に名望あり交際も廣かりし事として氏の逝去を聞きつゝ、我れも哀悼の情禁じ難き之餘、遠近の同業者及び生前親交の人々より日々到達する用詞は殆んど數百通の多きに及びければ今その重なるものを擧げ、即ち左の如し
組會員平尾賢平君の長逝を追悼し敬く用詞を呈す
明治三十年二月一日
東京小問物御商組合
● 願取 三 天 野 源 七
五二會中央本部及五二會東京本部は東京小問物部長平尾賢平君の逝去を悲しみ同會御數以來其擴張に奮進せられたる君が功勞の多大なるを懐ひ殊に哀悼痛惜の念に發す遂に巻く用詞を呈し其詞意を表す

明治三十年二月四日

五二會 監督 前田 正 名
五二會 東京本部 長 森村 市 左衛門
甲 詞
嗚呼平尾賢平君一朝二歴の侵す所となり藥石効なく忽焉喪を身同顧すれば若東商銀行の創立に執筆し爾來開業發達の景況を自筆せずして止む生等痛惜の至りに堪ず爰に生花を靈前に供し謹んで哀悼の意を表す

- 株式會社東商銀行
支取 辻 久 米 吉
取締役 辻 金 五 郎
長 瀬 富 郎
山口 清 七
三輪 善 兵 衛
松 谷 庄 兵 衛
川口 興 兵 衛
監査役 松 林 理 助
支配人 間 瀬 俊 次 郎

明治三十年二月四日
又去十日夜谷車坂町なる觀教會場に於て十日祭を執行せられたる時、靈前へ手向られ及び我商報を送り越されし用詞句は左の如し
三十年來おむころに陰みし平尾氏の今年春の明る頃ばかりす西の雲にかくれたまひしを憶ひて
大松を折るといかに春の雪 中座雪
(記者註す阿氏は前名松次郎と云はれしなり)

平尾氏の靈位を拜して
霞む奥かた手の聲の光り哉
世は無事と御靈に告よ歸る雁
しら梅の散りて盡せぬ香り哉
ちり際のもうのしき櫻哉
ちりてなを薫りの高し梅の花
平尾氏のみまかりしを憶みて
突にはふ花の色香もあはれ野の
つねにもあはれ風にもちりけり
● 哭平尾賢平君長逝 西 藤 清 彦
牛込江戶町 九 華 堂
人世元來夢耳濡。與君永訣有難難。新天叫地。乾抑抑。空擲梅花。幾番。幾番。



● 別製燈心入 櫻橋形
● 千代田新小入 櫻橋形
● 歌女新入 櫻橋形
● 名舞本紙綿入 櫻橋形
● 歌舞伎形 櫻橋形
● 日の出形 櫻橋形
● 花の君形 櫻橋形
● 製造元 東京四谷惠比壽屋本店
● 發賣元 東京橋町四丁目

殘寒却而覺凜冽候得共各位愈々壯榮欣賀此事に候陳者豫ては懇情を蒙りも蔭を以て日月に隆盛を極め罷在候弊舖製造ぬれがらす之儀近時物價の非常騰貴致候折柄に拘らず依然卸直段を据置にし且品位を精撰致候結果に從前に數倍するの注文を忝ふせられ候段難有奉謝候就てハ洋製の器械備付以來製造に於ては萬々差支無之候得共唯仕場の一段に當り兎角職工の手廻り兼候旁々此先益と注文の相當み候に至る或ハ出荷の延引する場合等も自然出來可仕と奉存候併し目下の處にては精と職工を奮勵し斯る差支は必らず致さざる様略々準備整頓は仕居候得共萬一右様の儀有之候ては折角の厚意に背き甚以て遺憾の儀は坐候間何卒此意汲取被成下今後は全く品切に不相成候内前以て御注文書御差廻被下候様仕度此段御得意様御一同ハ豫め謹告仕候也
本舖 大阪清水橋 益田第一堂
支舖 東京日本橋 益田第一堂
電話 花四四十八番



●營業法の届出 營業税法に依り一月三十一日迄開帳簿の届出を爲す各種の營業者中一兩日前迄各稅務署へ届出たるもの總數の六七部位にして残り二三部は課稅標準に付當局者を見解を異にしたる故ありとの事と云ふ

●各都國の專賣特權 同日獨條第十七條は昨年十一月上野實業に付各都國も最惠國條款に依り本條約實施前專賣特許に關する條項又は實施せしむ既に英國一月四日より實施せしが他の諸國も目下夫々外務省に交渉中にて不日實施の途に至らざるべしと云ふ

●外人の登錄料 日獨條約に依り獨國臣民及び英國臣民より我農商務省へ商標の登錄を申請したるもの總數七百餘件の内既に登録済の者三十三餘件に及びたる由なるが此七百餘件悉く登錄の上は是のみにて登録料の收入は二萬四千圓に上るべしと云ふ

●大日本農會 大日本農會は二月日本農會にて本用總會の等なり小集會を關し來る四月下旬より本會に於て大會を開き農務上に關する演説、參事員多數改選、常議員十五名の總改選を行ふ此大日本農會の條約實施準備 文部省の條約實施準備委員は目下左の諸問題に付調査しつゝあり

●國民の固有思想が世界思想の變遷に及ぼす結果として變動を就學生徒の頭腦に及ぼすべし必然たり此變動に對して我が國風及び自主心を伸張せしむるの法

●一國語と外國語との關係及び國語に變化を來たすに於ける其教授法

●宗教、道德、風俗等に關し彼我の相違に對する我が國の教育方針

●條約國子弟にして我國の學校に入入するもの

●條約國人の設立する學校の管理規定及び本校の學校との關係

●教育學校の取締法

▲最近登錄商標摘要

●品名化粧下着者 日平假名交々草書ねり玉子の四字

●品名石鹼 草書にて「子」を香下したるもの

●品名、鹽、地球儀の面中央部分に銀書にて日本と斜記したるもの

●品名、洗粉、周邊所を飾る縦長方形の地の面上上部に廣の地紙形の欄を設け其左下方には地紙形に似し掛けて上部に連附紐を有する上下弧形を爲せる案を設け其右方に花飾ある欄を設ける左向婦人の半身圖を顯し其周邊に紫雲英と下方に番花と書きたるもの

●品名、石鹼 額と同とを長く上下に延び新月形を爲すじたる異様の入面を左方に附けて書き其左方に洋服様の衣服を着し帽を冠りたる一匹の兎が稱々右方に向ひて該人面の頭に懸を掛け兩手にて月琴様の樂器を執る様を設け所々に數多の花形を散置し全圖形の上部に兎月石鹼と銀書にて列書したるもの

●品名、同上 中間に「太」線を狭めて内外數條の線より成る横長方形欄を畫し木線の内面に數多波頭狀の線を連列せしめたる裝飾を施し以て周欄を爲し更に周欄の内邊に沿ひて畫したる子母線横長方形の内邊に接して香珠盤より成る横長方形の左右邊中央の部分に弧狀に外方に凸出せしめたる區畫を施し以て内欄を爲し該内欄の各母線の面上に短線及二欄の点を交互に非列せる裝飾を施し及内欄の四隅の積々三角狀を爲せる部分に各一個の唐草形を顯し更に内欄内には中央に横長方形の區畫を畫し其上下に左右兩端垂曲せる線狀の布片を對置し又左右に數條より成り上下の凸出部三角狀に尖らし其先端に各小圓形のものをつけ又左右凸出部を弧狀に爲したる十字形狀の流の各一個を配置し而して横長方形の區畫に石鹼の種類を示すため「ペース」マインになる文字を特殊なる羅馬字を以て記入したるもの

●品名、同上 宮田りき

●忠義形 浮島形 新おはつ形 どんび形 牡丹形

●歌舞伎形 大評判無類格切好

●改良攝形販賣廣告

●製造本舖 川口長春堂 發賣本舖 佐々木玄兵衛

●忠義形 浮島形 新おはつ形 どんび形 牡丹形

●歌舞伎形 大評判無類格切好

●改良攝形販賣廣告

●製造本舖 川口長春堂 發賣本舖 佐々木玄兵衛

●製造本舖 川口長春堂 發賣本舖 佐々木玄兵衛

●改良攝形販賣廣告

●東京鬼一義太夫本板元

●製造本舖 五、五、五

●東京鬼一義太夫本板元

●製造本舖 五、五、五

●東京鬼一義太夫本板元

●製造本舖 五、五、五

○遊記



見れば是別人ならず桐原の二子源太景季にてありければ...

源太は頗る焦立ちて、何ぞを言ふぞと、我れし居る邊で...

是は世夫なひなりはせぬてや、思ふに景季が心ちつと...

申したが本公の初めで夫より千貫高馬の中を縦横...

無得に任承した天晴の古強者主と巨とを別れた...

かたは、いかに、いかに、いかに、いかに、いかに、いかに...

一本の筆より外刀一ツ持ち、種知りの瘦文人最前...

打ら居つたな、此處までが肝心成座の話しの腰...



を、痛く、痛く、痛く、痛く、痛く、痛く、痛く、痛く...

に、於て、來る、五月、上旬、より、九月、下旬、まで、園藝...

加へて、一新、面目、を開く、に至れる、のみならず、世界...

り、た、り、と、云、ふ、と、云、ふ、と、云、ふ、と、云、ふ、と、云、ふ...

園藝博覧會、園藝博覧會、園藝博覧會、園藝博覧會、園藝博覧會...

●生牛乳飲用の危険 牛乳は衛生上有益のものなれども生牛乳に細菌を生息するもの多し...

●痘種痘中の心得 天然痘の流行の日に痘種と極め其筋に於ても種に注意する所ある由なるが...

●貨物運送と補助貨流通 大阪造幣局に於ける貨物運送の客年末までに恐る補助貨の運送を...

Table with 2 columns: 補助貨流通高 (Subsidized Goods Circulation High) and 補助貨不足額 (Subsidized Goods Shortage Amount). Rows list years from 1915 to 1920.

●營業税法と海産物商 營業税法施行に付海産物組合にて目下營業名義の件に關し種々協...

●一手法賣 山崎帝國堂 東京神田花房町角 電話番號本局四〇三番

尾上菊五郎製

第一無鉛毒 第一無鉛毒おもしろいなればおもしろい焼に...

店約特 日本橋區通町 日本橋區通町 日本橋區通町...

雲井織

第四回新發明專賣特許 雲井織 御婦人用 坂根兄弟商會...

東京發賣元丸見屋善兵衛 特約大販賣 天野源七 特約大販賣 森本支店...

● 厘位切捨の議 富の度漸く進びに隨ひ銀貨の漸く膨大して幾何何云ふ進定に何何厘まで加算するは如何にも煩雜に堪へず國庫金の出納銀行會社の收支などに僅か一厘の誤算の爲りに非常の勢力と入費を費せし奇談は少なからず政府の會計を始め全國の銀行會社の帳簿上厘位の爲に日々異せる手數と入費を計算せんに以て意外の巨額に上るべく而して其厘位の金額は何程の高にあらざるべし是に於てか銀行間の取引には厘位を算すべしと云ふの議あり三井銀行にては過日日本其協議中なりしが此程に至り他に率先して斷然之を決定することになり總ての取引に厘位を切捨ることとし遠くらず之を實行する旨なりと云ふ市中の小事引に厘位の價格を全廢するが如きは未だ容易に實行し難かるべしと雖も銀行會社の大動定に厘位を廢せんは總てにあらざる若し申合せて全廢せんとするんは假令其得意に向つて支拂ふべき金額に厘位を切捨てし受取るものは厘位を切捨ることとするも帳簿上の手數を多くし少なしとせず其便益多かるべしとて日本銀行なども頗る之に賛成を表し居るよし及び一般に行はるるに至らんか横濱の香港上海銀行の如き日本人の取引をせざるに拘はらず十以下切捨るの價例なりと雖も不都合な横濱の生絲商館の中に其代價を支拂ふに固まてを限りせざるものある程なり何處も云ふ政府の算に何錢何厘を附するが如きは煩雜の限なるべし(時事新報)

● 戸籍に關する登載費 登載費の増加すべしとて毎年國庫の收入凡そ六百萬圓を増加すべしとて前政府の財政計畫に於ては決定し居るべし二百萬圓を増加し總計八百萬圓の増加を來したる由なるが右に付進歩の如きは登載費法中の一節に關するに關する部分と改正し入籍費を結核病等に關する登載費に總て之を限すべし其の理由は右戸籍に關する登載費は實同一の税を課せられ頗る不公平なるが上に人命を重んずるの爲め例へて貧者は登載税を免れんが爲め回出を爲さず又貧窮者、阿片者、偽造者等に生れ、野合の妻等毎日其罪を悔すに至るべし故に右に處する

● 登載税は凡て之を廢止すべしと云ふにあり而して之を廢止する國庫收入の確定額には格別の差異なきを以て政府も餘り苦痛を感ぜざるべしと云ふ

● 九州教育大會の問題 今春長崎に開かる八縣教育大會の諸問題は左の如く決定したる由一児童の心身發育は其如何なり就學せしむるに應ずべきか

一 尋常小學校の課程を四ヶ年に安全に修業せしめ得べきか

一 小學校及び中學校教員の不足を補充する方法如何

一 高等小學校の女生徒に對しては男生徒と全く同一の教育目にて適切なる教育を施し得べきか若し否らざれば其方法如何

一 高等女學校は一府縣に少くも必らず一校を設置すべきこととするの必要なきか

一 學童兒童を正當の理由なくして就學せしむる保護者に對する制裁を加ふるの可否

一 貧困兒童を就學せしめ教育の恩澤を受けしむる爲め之を補助する方法如何

一 寄宿舎に於ける生徒の訓練法は兵式的と家族的と何れを可とするか

一 高等小學校と尋常小學校との聯絡を密接ならしむるに適切なる方法如何

一 學校生徒をして數日間の長途遠足をなさしむるの利害如何

一 各學校の試験に於て算術科に落第者の多き原因並に之に應ずるの方法如何

一 學務委員をして十分盡力せしむるの方法如何

一 九州に造船學校を設置するの必要なきか

一 九州大學を設置するの必要なきか

● 紙を電話に需用す 昔時フランクフルトは紙を因て電氣の作用を發見したるが今又紙を電話の媒介と爲すに至り英國ボリウウス海軍司令官がパー氏は紙を以て電話の間に電話を爲すの法を發明せし其法たる紙の端に電線を付して之を空中に懸け其線の端は之を自機に保ち他の一端をして遠處せんとする船上に懸せしり紙を以て空中の支持となし線の兩端を各其機の電話機に連接し以て一時の電話通信所を無線の間に懸せするなり阿氏の試驗せる紙は長さ六尺廣さ三尺のものなり其美事に成功して遂に不便なかりじなし

● 貴嬢紳士必の香料

● 大瓶價六拾五錢 ○ 小瓶價三拾五錢

● 用ゆる七五分入及他香具原料

● 新小瓶價三拾五錢 ○ 小瓶價三拾五錢

● 貴嬢紳士必の香料

● 大瓶價六拾五錢 ○ 小瓶價三拾五錢

● 用ゆる七五分入及他香具原料

● 新小瓶價三拾五錢 ○ 小瓶價三拾五錢

● 陸海軍御用 近頃非常の名高きはみかき

● 米國シカゴ府

● 西澤象印はみかき

● 米國シカゴ府

● 西澤象印はみかき

● 莫大小製造卸票告

● 小間物屋さん仲間へは特別に働いて賣升

● 肌着靴下 各種

● 手袋品々

● 莫大小製造卸票告

● 小間物屋さん仲間へは特別に働いて賣升

● 井藤安

● 店賣販出並井

● 前宮天水町先東京京

● 井藤安

● 店賣販出並井

● 前宮天水町先東京京

世界無類優香水

定價
 小瓶 四錢
 中瓶 七錢
 大瓶 拾貳錢
 此外共口瓶入
 大中小各種



發賣元 小間物問屋 近江屋源七
 ライオン 齒磨の特効



本品は化學作用により多年實驗して好成绩を得たるに依り一層原料の良質を選擇して精製したるものなれば従來世に行はるる普通齒磨と其質を異にして香氣郁郁として口中の汚物と臭氣を去り齒質を雪白健全な世界無比にして且該品を常用しむると、腐れ齒齲齒を治し總て口中一切の病を思ふる無きと疑なし是れ本品の特効なり江湖の諸君續々淨試用の上高評せらんとす

東京特約店 小村商店
 東京市神田區柳原川岸世二號地
 電話二四八番
 東京特約店 小林富次郎
 東京市常盤町二丁目
 東京特約店 中村商店
 東京市常盤町二丁目
 東京特約店 安藤井筒堂
 東京市常盤町二丁目
 東京特約店 村田藤七
 東京市常盤町二丁目
 東京特約店 平谷會社
 東京市常盤町二丁目

大販賣所 日本橋區馬喰町一丁目 平尾贊平 日本橋區通油町 村田藤七

大勉強廣告

親王 牡丹

發賣元 東京常盤町二丁目 佐木玄兵衛

定價
 一具 二錢
 特製 五錢

流世丸 三形

弊店今度のもじ元毛製齒磨の特約致し諸君も其大改良を加へ大勉強仕候間何卒多少に不限御注文被下度此段奉願上候

種毛賣買仕候

右丸三形曲入之義ハ令體優美ノ流行形ニシテ其原料ハ上等ノ磁心ヲ以テ製シ且是迄類ナキ細土佐紙ニテ製造致タル物故何卒多少に不限御注文被下度此段奉願上候

小間物問屋 東京市常盤町二丁目 村田藤七

●本品の特色●

普通品に比し價格低廉にして量多し而も光澤頗麗にして磨つても永くはげすまづけるものなり

製造元 山崎 森川積善堂
 東京市常盤町四丁目 小間物問屋
 發賣元 村田藤七
 東京市常盤町二丁目 小間物問屋
 電話 浪花四八番

壽 齋

諸君も其御注文に依り製造す

小間物問屋 東京市常盤町二丁目 村田藤七

●生絲商の規則改正 目下當局者營業法の適用に關し見解を異にする...

●日本の公債 公債にして金貨の價は高下常ならず...

商店販賣品目 齒粉 洗面粉 洗粧粉 化粧料 香油 髮油 香水 結晶 楊枝 系卷 右之品 問化粧屋

當世新形 諸品精々 金銀洋白簪 髮飾附屬品 問屋 廉價販賣 萬屋村上伊太郎

天保年間觸書の續し(承前)

天保十二年十月十日(日)
在りては、神事奉禮の節、作由送風祭...

手當いたしを受納は、格別に以得とも供方の
者共より、たゞし聞取申出、存之間、節にて...

見物人を集り、金銀を賣候有之由、申不考之事...
候右様之儀、企望世いたし候者、勿論其外にも...

浦津 旅眼石(つらぎ) 十返舎一九
その日は舟はし、の多ひや、とに宿借て、...

右之通宣政十二年、相願候、近年、相成候趣相
願不考之事、候以來、願面之儀、度相守人、...

右之通宣政十二年、相願候、近年、相成候趣相
願不考之事、候以來、願面之儀、度相守人、...

昌平坂所、高門内、日講之講、六時、九時...
時、遊講之儀、間、宣政十二年、...

昌平坂所、高門内、日講之講、六時、九時...
時、遊講之儀、間、宣政十二年、...

洗粉發賣 功賞牌受領 第四回国内勸業博覽會

サシナイノ茶室
定價 大罐入金拾錢 小罐入金四錢 壹封度入金廿錢

近來 諸君 サシナイノ茶室
製造本舖 長岡清助
代理店 小栗小三郎 宮田辰治郎 中村善右衛門



最良 香油 八千代
香油 精煉 八千代

本舖 九華堂 小林幹治 敬白
一層原料ヲ改良シ、香氣モ充分注意致候...

その手に... 清涼... 清涼といふのは...

清涼といふのは... 清涼といふのは...

Advertisement for 'Shan' (善) products, featuring a hand illustration and various product names like 'Shan' and 'Shan'.

Advertisement for 'Shan' (善) products, featuring a hand illustration and various product names like 'Shan' and 'Shan'.

餘興

汝も文まで命や拾ふらん たいかひの無き世の傳書場 諸馬屋 鳥でさへ皇國の恩をひつゝ いくさふまをば送りくる 月 九 電信のかい便のそのの上を 藤山 藤をしろ皇國の賜も軍用にも 彌生 皇軍に仁あり義あり禮のあゝ 月 好 鳥に密書の使ひさせけり 鏡花老人 鏡炮の九つひの豆はとに 飛散るなかとゆく傳書場 望 平 飛越を大本營にまちせられ 鏡 魔 君命をばかじりすに陣中へ 水 月 八日清文の使者にもたてるいへ 秋の屋 軍の神の使者にこそあれ

俳句

此はうた文句結び俳句はさる人々の催しに 保れりて友人かたしよありて記者に贈り 越せし處なるか此處徒然の餘りどり出は びて之を見事に其面白きことを限り無ければ 同好俳句のふかみに供する事とはなしぬ

わかれ端に羽織のくして柳の戸 一雨に扱はるなまよちる櫻 老木まで若きてははるの雨 長閑さや八瀬や小瀬の黒木賣 水はの夜や袖ひき寄て耳に口 下戸一人野暮らし花の下しし 睡汁を為西太郎や梅の花 ばつ空や音も世話しき車井戸 雉子淋し深山の奥の詫住居 仇な笑顏の住居むし柳の戸 影られもしよと思ふ人來鳥 遠音引細谷川やさしの聲 是の顔かくす妹にくしかる月 ばる雨やあははせふり忍びの駒 夜櫻や赤の起す空寐入 夜櫻や人の起しり世の義理も ばるる夜や二階せかれて格子先 花に風やうきならぬ半世哉 初年や獅子冠で子のさげん 高嶺や獅子冠で子のさげん 丸ならぬ世世を透つ梅の主 癡通じし枕の谷上はるの雨 ばるる雨やあははせふり忍びの駒 娘氣のうきささぬいや仕舞離 村 林 雲 山 橋 我 美 醉 哉 玉 女 我 曉 柳 賀 蛙 我 風 橋 好

西澤人の名刺の先 此花は一重のねへ一重の二重 坊やん手は何をすつたの赤い物が付て居るや となすけ者が欠伸をして曰く「毎日こんな仕事 をして飽きた」 秋田 大垣竹嶋 養老山人 (長崎) 第四十六號若草くらへの解 四八九九(芍薬) 父母だ丸(肌) さいかい情け(藤 藤) 武州市東町近藤店 通運町豊源親玉店員 三羽後横手町七笑 本所練町三丁目林長之助 神田某店員



弊店養年來名古屋製造販賣在各地御得意様御愛顧ヲ以而益業務盛大ニ相進候段難有仕社員一同奉謝候扱一昨明治廿七八年戦争凱旋以來御祝品トシテ需用一時ニ相増々各地御店様ヨリノ御注文相當ニ夫故昨年中ハ品拂底ニテ折角ノ御注文ニ應シ兼候場合抄ナカラス遺憾限リナク奉存候依而本年ハ昨年中ヨリ熱煉ノ職工相増新意匠ヲ盡シ時好ニ相適シ候雜品澤山製造有之何程多數ノ御注文ト雖迅速御間ニ合ヒ可申上候間何卒澤山御用向被仰付被下度偏ニ奉願上候也

平谷合資會社

標商 ぐら梅 水一錢。拾。錢。廿。錢。特別製 卅五錢。水一錢。一十五錢。同 卅五錢。此うら梅おしろひは眞正無鉛毒製にしつつきよくのりよくはけをもちる事なり又硫黄温泉臭氣ある所に入るも決して變色する事なし



嗜用人 新駒屋 中村 福助 發賣元 日本橋小橋町 赤心堂 發賣代理店 東京橋山 田中花王堂 特約 日本橋區銀座三丁目 大坂 日本橋區瀬戸物町 山 中 店 玉置 八右衛門 松澤 金 店 大坂 日本橋區北區 伊勢坂坂新町井田 正平 和泉屋茂十郎 上州安井町 若松屋 春吉 靜岡市上野町 岡部 武兵衛 同守都宮日野町 船津屋 菊五郎 遠州市須田町 三谷屋 六藏 同守都宮日野町 針屋 喜平 三河國豊橋 井上平次郎 名古屋末廣町 上庄 井上平次郎 寶捌所ハ何れにも有之候間最寄賣店又は小間物店にて御求を乞ふ

東京丸見屋善兵衛三全 1000

東京佐々木 三全 1000

東京大坂實業御資株式會社 三全 1000

大阪飯田 三全 1000

大阪加藤 三全 1000

大阪三條 三全 1000



數之販賣高ラ有シ且品質純良價格低廉ヲ凡ク普ク世人ノ知所也

日本全國中最多

岳陽堂 平尾贊平 東京市馬喰町丁日

Table listing names and prices in the top-left section.

Table listing names and prices in the middle-left section.

Table listing names and prices in the bottom-left section.

Table listing names and prices in the bottom-left section.

Table listing names and prices in the top-right section.

Table listing names and prices in the middle-right section.

Table listing names and prices in the bottom-right section.

Table listing names and prices in the bottom-right section.

石田嘉作 101000

東京山新聞



○偽物あり御用心 (承前) 骨皮道人

勿論骨皮道人の偽ものあるは今回が初めてにあらず。指を屈すれば七ヶ年前、即ち明治廿四年四月頃にてあり。道人がまだやまやま新聞に筆を執りつゝあるの時、骨皮道人と稱する者、静岡地方を遊歴し、殊に大塚にもやまやま新聞の記者なり。静岡専門の著作者なりなど、出版体の大風呂敷を廣げ、勝手な大法師を吹か散かし、頻りに無島郷の端々を氣取て居りしを、同地の識者は大いに怪しんで、態々やまやま新聞社へ宛て道人の旅行せしや否やを照會せられ、或は骨皮道人の本性名は何と云ふや、且つ年輩容貌等をも承知いたし度しなど云々問合せ郵便が、日々數通到來せしより、個々甚だ迷惑千萬なりとて早速紙上へ、本社に骨皮道人の近頃旅行せし事なく、依然編輯に従事し居る旨を配し、道人自ら偽物の香と題する一編を草して社報へ掲げしに、彼れ其化の皮のあらはれて流石に其處に居たゞされず、何時の間にかや何處へか逃去りし由にて、其當時静岡やらの物やら狂言やら狂歌やら、種々様々の投書が参りしが、其中道人が紀念として取り置きし、照度道人と云へる人より送られし狂歌なり、即ち左に記して以て証と爲す。

骨皮道人と偽稱して静岡地方を徘徊する者のありければ
骨皮道人と偽稱して静岡地方を徘徊する者のありければ
骨皮道人と偽稱して静岡地方を徘徊する者のありければ

ひさたきものは面の皮なり
喰ひかねて己れ骨皮と口ばしり
人を喰はせる乞食道人
本もの骨皮もあれども偽もの骨皮もあれども
面の皮のみ厚き道人

其後明治廿五年頃にもありしか、確かに時日(記憶せざれど、或は口ト大坂毎日新聞を閲したるに、同紙上載の首言を掲げたる文中「やまやま新聞記者骨皮道人と稱して各所を徘徊し云々」とありて、諸君の疑念なきしが、彼の静岡(行)に多分此奴であつたらうと思ひたり。而して其後又静岡に國報に、或は九州某報に、又福島仙臺後甲州信州近(八)次城地方等、何れも東京の骨皮道人と稱して徘徊し者あり(其都度各地より照會され共餘りなくしければ略す)。

切て斯の如く甲處にも骨皮道人あり、乙方にも骨皮道人あり、骨皮道人と骨皮道人とが結合せしめて、何れが真正の骨皮道人か、何處が本家本元やらサツバリ相分らざるに至つては、曾て閉口せざるを得ざるなり。然れども彼等が大風呂敷の材料とする處は、新聞社にも從事し、又投書も爲し、傍ら著作に身を委ねて既に何々を何々書店より出版せりなど、其云々感概無き此道人が是まで爲し來りたる百戰の事を、切取取りして居るもの如し、然らば則ち單に骨皮道人と稱するに、法律上制裁なきにせよ、此道人が是まで無けなしの愚昧暗を續つて、折角獅子の鼻をヒコ付して居るものを、何の故もゆかりも無い赤の他人が、是れ自己が作つた彼れも自己の著作だと云ふからには、是れ純然たる骨皮道人の偽物、否や西森武城の名稱偽物、エヘン骨皮道人ハ此處に居る西森武城の骨皮道人が、真正正家本元の骨皮道人で御座候と誠嘆も、取て何處から尻を持て來る人はなかるべしと思ふなり。況んや西森武城の顔付の瘦さはちにして、唯魚かに骨皮ばかりなるが故に自ら稱して骨皮道人と云ふ譯なれども、他ハ容肥大若くハ普通の人間にして名實相反し、少し骨皮の骨皮たる真相を具備せざるに於て、や、尤も或人は偽もの出来る位なら至極結構だと云へど、偽ものに限つて何事も無責任なれば己れ都合よき時に無罪に大法師を吹て骨皮道人の名を振廻し、都合の悪い時に「旅籠屋其他の喰逃げをしたり又ハ旅籠屋の悪事を働らく事あり、而して先方の人々が是が偽物の骨皮道人だから仕方がない」と斷絶して呉れば宜いが若くは被害者が之を真正の骨皮道人と信じて居た日になつた日になつて見ると、真正の骨皮道人たる西森武城はナ

ト述べて千萬の次第ならずや。故に道人ハ茲に諸君の御参考に供するまで自ら人相書を認めて以て真正の骨皮道人ハ此の如き容貌である云々云々事を明らかにし、且つ何方へ骨皮道人と稱する者の罷り越たりと此人相書に依て眞偽の御鑑別を願はんことを欲するなり。

本家本元骨皮道人の人相書

一年齢の三十歳を越し四十歳にいたる二三年の間あり尤も浦島太郎内宿禰等の眼から見ればまだ赤ん坊なり。

一總身丸で骨と皮のみにして何様な顯微鏡で見ても軍人にハ最も不適當なり。

一脊丈ハ頭の前から足の爪先までにて凡そ五尺一寸八分はざり今五尺だけ短かつたならば淺草の觀音様と同居する積りなれど爾う旨くハ親父が作つて呉れず據らなく鳥羽槍の亡者たる世評に甘んずるのみ。

一顔ハ少し長き方あれども鼻に比れば餘は短かき併し其割合に人間の抜けた空地多し。

一額ハ猫より少し廣けれど、出度助にあらず却つて奥に引込んで居る位ければ額は餘は少なき方なり。

一眼玉ハ人並より大きくして頗る愛嬌に乏し故に時々花賊と間違へらるゝ事あり。

一鼻ハ圓子と獅子の合併にて進も天狗の仲間入りの出来ぬ質なり。

一頬ハ兩方ともベソリとして下に緩げ恰かも結構を倒逆にくつつけたるが如し。

一口ハ大いに怪面の趣ひあり且つ齒列びも甚だ宜しからず殊に出喰山なれども齒醫者に取ては極上等の得意場なり。

一眉毛ハメタコになつて居れり是ハ度々狐につまみれてノベツに唾を附たるが故なり。

一頭髮ハ蓬々として居れりランブの毛ヲ指除にハ少々大きくして間に合す。

骨皮道人の人相は大略此の如くにして、概して之を云へば世人の所謂貧相なり。或ハ餓鬼道の日用兼脚と嘲る人もあれども、兎に角瘦っぽたるは事實なれば、此段御未知下さるべく候。阿々

口廣告料 [五號活字廿二字隔一行三號活字拾錢四
回以上六回迄九錢七回以上八錢
發行所 東京小間物商組合事務所

雜 報

伯條約公布

佛國駐劄青島公使と兩國駐劄伯利西爾合衆國公使...

第一條 永久の和親あるべし 第二條 外交官...

日ノ如キ未だ確定し居らざるやに因ク...

◎本署機欄 六十以下四十五まで買口大によし...

◎東黃機欄 この東黃機と云へるは一見本署機と...

◎無地物 三丁合、二丁合、一丁物、半京、真砂...

◎花欄 摘み上物一圓内外より五六十錢まで...

◎無地物 三丁合、二丁合、一丁物、半京、真砂...

◎花欄 摘み上物一圓内外より五六十錢まで...

◎無地物 三丁合、二丁合、一丁物、半京、真砂...

◎竹藪欄 黒檀、櫻刀木、紫檀、花梨、椴木...

◎毛節立 本黃機三寸、二五、二寸、寸八、寸五...

◎南京黃機 各種とも直印に拘らず買口大によし...

◎牛欄 三丁合極上等物、四五、四寸、三五、九...

◎二丁合同欄 壹丁形、肉物、四五、四寸、三八、三五...

◎無地物 三丁合、二丁合、一丁物、半京、真砂...

◎花欄 摘み上物一圓内外より五六十錢まで...

◎無地物 三丁合、二丁合、一丁物、半京、真砂...

△友田外二氏聯合の宴會 横濱市にて藥品考...

△交親會 豫て本組合有志諸君の發起に依る同...

△謝 辭 左に列記する諸氏ハ孰れも當時の實業界中に於て...

上總一ノ宮町 鈴森 幸治君

同庚隅郡御宿村新町 吉野 武助君

大坂南久寶寺町一丁目 香峰 宗兵衛君

上總水更津町 織本 宗次郎君

廣島東横町 岡谷 喜兵衛君

上州高崎田町 伊勢田 半九郎君

故平尾養平君傳

我東京小問商の今日あるや故平尾養平君の... 養平君は幼少より其名譽の喧々たるを以て又...

榮華富大に理想の外に出で、見聞の事物悉く君の... 養平君は武門の威勢猛烈にして、況んや浮世の士東西...



像有存中養平故



養付梳油製造家諸君ニ謹告ス

專賣特許 二八一三號 發明者 近藤清次郎

パテントチイル 特性 華士八百七拾五度 比重八八五

從來世ニ行ハル、養付梳油タルヤ木蠟ニ植物油ヲ合製セシ物ナルニヨリ...

一香 鑑定書

本品ハ晒木蠟ニ淡黄色無臭ノ礦物性油ニパテントチイルニシテ混合煉製シタル...

明治二十九年八月六日 工學士桑原政工業事務所 藤井 恒久

以上列記スル如クナルニヨリ製造家諸君ニシテ特許權ノ割讓ヲ望マル、方ハ申越アルベシ弊店ハ公益ノ爲メ喜デ御來談ニ應ズベシ

大坂市西區中通り二丁目九十七番邸 近藤 商店 東京市京橋區南佐柄木町四番地 近藤 商店 東京市神田區柳原川岸廿二號地 支店 東京市一手販賣 小林 富次郎



▲大坂築港と帝國議會（承前）

▲然れども築港に費用を要す 計畫全天下に大坂一地方の負擔に堪へず國庫の補助を得ねばならぬ迄の域には達せり其設計預算ハ皆て國庫に挿入して本紙に掲げたる通り、二千萬の上を要し、中四百五十萬は國庫に仰ぐ目算にして、餘り其筋に對して其運動に着手し殊に第十議會の開けてより是非とも此期期中に補助の議決を遂る事に運ばんと奔走専ら怠り無く、之が爲に大坂より上り來りし八名と廿名にも近かる可く、是等の人々ハ或は松方伯大隈伯を初め其他の大臣に或は議會の有力者に、手に手を替へて術を施し、此程に至り漸く目的の達す可き見込を得、即ち當路者をして

▲其補助費を追加提案 として議會に提出せしめんとするまでに達したり、當路者の部分が此運動に動かされれば此の追加案を出さんとしつゝ、有るハ吾人が種々の筋より聞く所なるが當路者が既に幾多の豫算追加を發して物議を招かんとする今日に斯る情實ある斯る地方問題に國費を投ずる心を起し而も又々豫算追加の案を出さんとする其の當不當は暫く措き目下大坂の運動委員は一方ならぬ熱心にて議會にも之を可決せしめん爲め充分に各派の議員へも手を廻しつゝ、有となるが如く大坂委員が斯く熱心なる所以の理由は猶ほ他に在り此の國庫補助の正金をのみ以てする者に非ず

一部を正金にて下附し一部ハ大坂市中を維持せしむる爲めに在る河津地を以て一坪十圓に見積りて築港の費に充てむるなり

此の河津地の中には大坂の目貫たる川場の中に在る者も多く坪十圓と實際の直打の三分一にも過ぎず、而して其の下流なるハ坪數は數萬坪の多きに達せる故、名義の國庫より四百五十萬の補助を得るに在るも實際は五百萬以上の補助を得るに同

とく即ち

五十萬圓以上の利益ハ此の補助の議決せらるゝと同時に何の勞も無く袖手して大坂人の手に入るなり

大坂市に取リ、運動委員に取リ是れは都合よき利益ハ無く、是れだけハ全く計算の外に生ずる副産物なれば、利に較ぶ人情の争でか此奇貨を取逃す可き事、運動委員等ハ此の副産物の利益の中に於て幾しや十萬十萬を授かるも惜むに足らねば、當路者を買収し猶ほ議員を買収してまでも國庫補助の議を決せしむる事にせんと昨今の奔走は驚く可き有様なり、既に大坂の辯護士として多少ハ名を知られたる法學士柳川維成氏の如きも其の運動委員の一人なり、築港問題ハ兎も角も事ある毎に議員が物品と同視せられて買収の目的物と爲らんとす

▲大坂委員が斯く熱心なる所以の理由は猶ほ他に在り此の國庫補助の正金をのみ以てする者に非ず

一部を正金にて下附し一部ハ大坂市中を維持せしむる爲めに在る河津地を以て一坪十圓に見積りて築港の費に充てむるなり

此の河津地の中には大坂の目貫たる川場の中に在る者も多く坪十圓と實際の直打の三分一にも過ぎず、而して其の下流なるハ坪數は數萬坪の多きに達せる故、名義の國庫より四百五十萬の補助を得るに在るも實際は五百萬以上の補助を得るに同

▲第五回内閣博覽會 第五回内閣博覽會は本年三月二十二年に開會する筈なれども同年は佛國に萬國大博覽會を開會し我國も之に賛同したれば明治三十四年若くは三十五年に延期し其開會地ハ無論東京ならんや云ふ

改良化粧用白粉

弊店製雪の梅は廣く世上之好評を得品質の精良香氣卓絶なるを販

額の彫しき既に諸君の御信

認を辱する所也益々勉強御

愛顧の厚きに酬ひ奉んとす

伏而

御用

の程

奉費

候



定價

大器半打入 一個金廿錢

中器一打入 一個金五錢

小器卅個入 一個金貳錢

掛

發賣元

善

小問物問屋 丸見屋善兵衛

東京日本橋區區町四丁目

電話掛花四四八番

販賣所ハ全國有名の小問物化粧品問屋及藥店に有外

江川商塵賣品廣告

鼈甲珊瑚珠詩繪物推朱彫各種

舶來最上黑茶本ゴム櫛各種

舶來最上人造ゴム無地鼈甲ばらら各種

舶來最上人造ゴム象牙櫛笄簪各種

發賣元

善

小問物問屋 丸見屋善兵衛

東京日本橋區區町四丁目

電話掛花四四八番

販賣所ハ全國有名の小問物化粧品問屋及藥店に有外

發賣全

江川金右衛門

本舖

同町十四番地

電話掛花三百十九番

小問物問屋 同 支店

發賣元

善

小問物問屋 丸見屋善兵衛

東京日本橋區區町四丁目

電話掛花四四八番

販賣所ハ全國有名の小問物化粧品問屋及藥店に有外

商店販賣品目

齒染料 ●無臭のりふし ●からすふし ●ねれからす ●かみりふし ●木よし ●金の歯入 ●かみりふし ●木よし ●金の歯入 ●かみりふし ●木よし
かね下 ●雪のつや ●東さく ●つやばらん ●高士見がた ●白牡丹 ●菊盤其他 ●雪のつや ●東さく ●つやばらん ●高士見がた ●白牡丹 ●菊盤其他
白粉 ●花王 ●花の雪 ●都の花其他品 ●雪のつや ●東さく ●つやばらん ●高士見がた ●白牡丹 ●菊盤其他
煉白粉 ●雪のつや ●東さく ●つやばらん ●高士見がた ●白牡丹 ●菊盤其他
生白粉 ●雪のつや ●東さく ●つやばらん ●高士見がた ●白牡丹 ●菊盤其他
齒磨 ●花王 ●花の雪 ●都の花其他品 ●雪のつや ●東さく ●つやばらん ●高士見がた ●白牡丹 ●菊盤其他
煉齒磨 ●雪のつや ●東さく ●つやばらん ●高士見がた ●白牡丹 ●菊盤其他
洗料 ●花王 ●花の雪 ●都の花其他品 ●雪のつや ●東さく ●つやばらん ●高士見がた ●白牡丹 ●菊盤其他
化粧下 ●雪のつや ●東さく ●つやばらん ●高士見がた ●白牡丹 ●菊盤其他
塗料 ●花王 ●花の雪 ●都の花其他品 ●雪のつや ●東さく ●つやばらん ●高士見がた ●白牡丹 ●菊盤其他
香油 ●花王 ●花の雪 ●都の花其他品 ●雪のつや ●東さく ●つやばらん ●高士見がた ●白牡丹 ●菊盤其他
香水 ●花王 ●花の雪 ●都の花其他品 ●雪のつや ●東さく ●つやばらん ●高士見がた ●白牡丹 ●菊盤其他
元結 ●花王 ●花の雪 ●都の花其他品 ●雪のつや ●東さく ●つやばらん ●高士見がた ●白牡丹 ●菊盤其他
楊枝 ●花王 ●花の雪 ●都の花其他品 ●雪のつや ●東さく ●つやばらん ●高士見がた ●白牡丹 ●菊盤其他
糸巻 ●花王 ●花の雪 ●都の花其他品 ●雪のつや ●東さく ●つやばらん ●高士見がた ●白牡丹 ●菊盤其他
化粧用品 ●花王 ●花の雪 ●都の花其他品 ●雪のつや ●東さく ●つやばらん ●高士見がた ●白牡丹 ●菊盤其他
問屋 ●花王 ●花の雪 ●都の花其他品 ●雪のつや ●東さく ●つやばらん ●高士見がた ●白牡丹 ●菊盤其他

大和屋小兵衛
 東京日本橋區
 通町四番地
 菅谷爲吉

小間物化粧品各種
 花王洗粉
 自慢
 石鹸
 都すぢた



金城道人
 精選法
 標商用御軍海陸空

洗粉發賣
 朝日
 大和屋小兵衛

貴嬢紳士の香料
 大和屋小兵衛

陸軍海軍御用品
衛生齒磨
 大和屋小兵衛

本舖九華堂小林幹治
 東京日本橋區
 通町四番地

大和屋小兵衛
 東京日本橋區
 通町四番地

堀井長兵衛
大和屋小兵衛
浅井本店

一事子稿

奥の二室に主君の御光臨さしたる書に押遣り有合ふ...

うとて身分がよからうと世間の人に脱しされ自分も心に承服する...



如何なりと胸を透つて堪へたが其方の所存を聞く...

今日四月十四日朝家公の御明君政子の方の御代...

今日とて事始めの御式へ出仕し御前の首尾はよかつた...

身の甲斐なき妻の仇ならば能く覺悟して居ます...

給ふに一念感服の御難事非とも御指さすより...

●佛國大博覽會出品準備 來明治卅三年佛國大博覽會出品に關し當局者より其出品手続期限等を公布したる迄にて民間に於ては未だ深く念頭に掛さざる者の如し雖其出品種類に依ては決て其間を長期とすべからざるものあり就中本邦に取此好機を最宜利用せざるべからざる當代の繪畫、織物、陶磁器、其他純正應用美術に係る大作物は今日より用意するに非ざれば完全なる出品を爲す能ざるものありとの趣意より美術工業各種の團體員は時々打合せを爲す所あり既に去月中旬に新年宴會を兼一大聯合會を催し各自の意見を發表し種々打合せを爲す等ありしに偶々大表中に當り一時抄法止となり居りしが其時家藏印總助氏等主唱となり愈々近日之が會合を催し種々協議を爲すと云ふ

●商品記號條例に對しての注意 印度にて商品記號條例實施以來輸入貨物は總て其製造者若くは出品地の明記せざるべからざる事其前より公報ありたるにも拘らず未だ況し當業者の知所とならざるにや昨年中本邦より印度に輸出せる貨物中右條例に抵触して積戻し或は罰金に處せられたる者あり甚しき本邦製の内角時計に米國ゾナーター、ペリーの地名を附してカランタへ輸出したる者ありしと云ふ右の如く外國の名を敢らに用るは販路擴張上商標と心得居る當業者ある由なれども是等は一の購若手段と見認られ本邦商工業家の徳義信用を害する事少からざるを以て日本製と記號日本製の名を以て販路擴張を勉め我商品の信用を海外に博するの時なるべし貿易業者は深く此點に注意ありたしと成る當局者は語れり

●銅貨の缺乏問題 現今清國重要な各市府に於て金融上必要欲くべからざる彼のカンチニと名くる銅貨大に缺乏し民間の取引頗る滯滞を來し爲めに各州の出納官吏の如きは皆眉を蹙りつゝあり而して其原因は素も多々あるべし其重なるもの貿易の發達人口の増加及び雲南地方に屢々回匪の蜂起し正銅の供給を絶てるより各市府に於て銅貨の鑄造を中止するに至れる事甚し與て大に力あるものならんか元來同國に於て銀貨を交易の媒介に供するは稍や其規模の大なる商業を營むものゝみにて寧ろ日常の通貨と稱すべからざる

程にて銅貨に至りては小賣營業者等に取て常に必要欲くべからざるの通貨なるが故に供給の缺乏は忽ち金融界に至大の影響を現出するに至れるなりと此程清帝が彼の鐵道總裁盛宣懷の新政せんとする帝國バンクに新銀貨の鑄造の特典を與へたるも或は是等の事情あるが爲りなるべしと云ふ

●印度金融の盛衰 印度鐵道の盛衰は屢々報載せし所なるが其鐵道は皆に食物の上止まらず同國に要する各地に於ける金融界の盛衰も亦頗る移り居り居り即ち通貨の缺乏し隨て金利非常の暴騰を爲し經濟界は之に由りて大に擾亂せられんとするに至れり尤も金融市場に斯る不安の現象を招きたるは畢竟同國農産の凶作なる自然の結果とし只さへ土兵が銀貨を私藏するの弊あるに昨年來鐵道多かりしに因るなり是は英國政府は印度幣制調査委員の建議を容れて總て幣制の改革を爲し銀貨の自由鑄造を廢止して其政策を誤りたるに基せりされば皆て幣制改革に反對したる人々は今日に至りて更に政府の所爲を非難し政府にして往日の如き安舉に出でず今日も尙ほ自由鑄造を爲し得たらんに現時の如き經濟界に不安の虞を來せざるべし自由鑄造に廢止せられ目下の危急に際し自由と銀を輸入し且鑄造して以て經濟界の需要に應ぜんとするも能はざるべしなりしを如何せんと思ふ極端にして英國の經濟家中にも政府が自由鑄造を廢止したるを非難する者少からざるにや我國に於て幣制改革の舉あらんとす當局者已に安全の成算ありて爲せるものたるや疑なしと云へども猶慎重に慎重の議を經て徐るに之を實行すること緊要なれば成る實業家の語

或日の事 勇久助が貴様は歸にゆく歸らいて呉れるが外の奉公人が兎や角いつて行んから。夜は仕事を一ツに仕舞つて一ツに寝て二ツに起つて働いて呉れ。公一は私に夜九でなけりやア眠る事が出来ません。朝ハ七に目が覺て寝て居やうと思つても目が覚えてどうして寝て居られませんか。誠因因果女性分ですが。貴方は困つたの。夫やア斯うしたら何うだ。貴様に腰をやるから腰に草履草鞋を作つて内職にしないかい。さう致して給金を頂ださして働らく身で手前の内職などをして濟す譯のものではありません。舞イヤ貴様ばかりが奉公人ぢやアない。外の者が何やいて行ないから然うするが宜い。公有難うございます。是から朝晩主人の用に草履草鞋を一生懸命に作つて。同村の荒物屋へ持て行ては鳥目に換えて二百でも三百でも頂ださつて主人に預け些か年に二兩二分三兩の給金だが。是も皆な主人に預けて置く。天下の重寶通用金を無駄に仕舞つて置くが惜しいものと小前の者が安利で貸附て置く中に。丁度久助八年奉公を致しました。勇久助や一寸來な。久へ何か御用でございますか。馬外の事でもないが不思議の縁で八年か前を召使つた。僅か二兩二分三兩しか給金をやらんが草履や草鞋を作つて内職をして乃公に預けた金を小前の者に安利で貸出で置た處が。金が子を産み丁度百兩になつたが是を貴様に渡さうか夫とも儲かな處へ貸出すか何うぞ。久へ二日那様百兩といふ額より附ましたか。ア、久夫なれば且那様來春になりましたら少しお暇を頂ださうございます。馬ウム故郷へも行て來るか。久へお話をしなれば判りませんが私は能登の七尾の在下田村の生れ百姓久左衛門の次男でございまして。兄があまりしたたが遺業をして私が幼穉の時にか家を出て行行知れず。母は早く亡くなり同じ村の後家を親父が二度孫に貰つた處。建子があるの。是に嫁を取られたといふ母の邊みで私に

兼捨丸物語 第一席

双龍齋貞明 謹演
今村次郎 速記
上州玉村といふ處に村長を勤めて居る權左衛門といふもの。石蔵にも多々ある中に。同村の百姓何某が世話を致した能登生れの久助といふは。若年ながら至つて實地に働らく所から主人權左衛門が

連なく當ります。義理ある母に嘘を返して。海ぬと思ひ故郷を立退き旦那の家へ御奉公をして。早や八年の間に百兩の金のたまつたも皆な旦那様の賜もの。夫を故郷へ持ち歸り親父や阿母に渡して田地を求め。義理ある妹に婿を持たして其家の絶やうにして。又私は御常家候へ出ます。其の御無給金にて一生御存候ひを願ひます。ア、感心な心掛だ留めはしないから春になつたら立派に掛裝をして。土産物も調へてやるから國へ行て來るが宜い。公有難うございます。間もなく其年も暮つて新玉の奉を迎へ。貴夫で久助是が若物。此の刀は去年の暮拵へさして置た用心の爲の道中差。さして行なさい。是は土産物の貴様から預かつた百兩の金。夫から此の十兩は往復の旅費に備へ置た。家内が個別に五兩都合百十五兩の宜いかな。久有難う存じます。ア、百兩は無用心だから爲替をくんでやうら。久ハ私しが難かり様に入れて。舞イヤ。大金を持つての獨り旅は危険。萬一間違ひがあつては成らんから。久夫でございませ。貴夫なら持て行も宜い道中では成式氣を附て人を見たら盜賊と思へ火を見たら火事と思へといふ此も亦あるから。必らず油断をして往んよ。久ハ。久助は婿し喜こび支度を整へて上州玉村を歸にして故郷の能登を以て立出ました。急ぐ旅に無理な道を歩んで。信州の追分へ來て路を踏違ひの日が暮つてから五六里も歩行しましたが。廣々たる野中にて人家は一軒もございせん。ハア困つた事をしたと思案に呉れて。アト向ふを見るとアラ。黒火が見へたら有難や家があるかと喜んで。急ぎ足に來て見るに野中に種々な大きな家。内から黒火がさして居るから公御免下さいませ。私は路に踏違ひました旅の者でございませ。是から旅館のある所へ出ます。いつて立出で門の戸を開きしは三十三の婦人身には粗服を着て。ア、お。若にして居ます。が言葉遣ひは元からの賤い者ども思はれません

兼捨丸物語 第一席 (續)

兼捨丸物語 第一席 (續)

兼捨丸物語 第一席

兼捨丸物語 第一席 (續)

兼捨丸物語 第一席 (續)

兼捨丸物語 第一席 (續)

兼捨丸物語 第一席 (續)

兼捨丸物語 第一席

兼捨丸物語 第一席 (續)

●杭州輸入本邦産物需要の状況 同景況に付
 清湖杭州駐在小田切領事より去月十二日附を以
 て報告の内其雜貨に屬する分のみを摘載すれば却
 ら左の如し

摺附木(前略)本邦製摺附木に就きて當地商人
 の云ふ所を聞くに毎年五月頃降雨多量空氣濕
 潤の候に至る時本邦摺附木は發火原因に濕氣
 を帯び不斷之を繰り置くにあらざれば發火不良
 殆ど使用に堪へず又各種とも木質無燐のもの
 を免れざることは實に本邦の劣點なりと云ふ

洋傘 當地に輸入する洋傘歐洲製、本邦製の二種
 あり歐洲製は概して絹張の高價品にして製作堅
 牢完全なり本邦製は價格低廉にして一打四元乃
 至七元位なり六七元の外觀頗る美麗なりと
 雖も仔細に之を檢せば縹緗十間骨に粗悪なる毛
 織子を張りしものも過す其最も廉價なるもの
 に至りては使用日ならずして毛織子の光澤剝落變
 化たるを免れずと云ふ歐洲製の堅固良好斯の如
 品の之を歐洲製に比して價格の極て低廉なる本
 邦製の賣高は殆ど千七百打以上に至れりと云ふ
 而して當地地方人の洋傘を使用する者も年々増
 加するの傾向あるを以て若し本邦製にして少し
 づ改良を加へ一層外觀を美麗にし保存に耐ゆる
 樣製造せざるを好むを望するに至るべし

洋燈類 洋燈にも歐洲製と本邦製の二種あり本
 邦製の歐洲製に比して著しく廉價なりと雖も其
 製造頗る不完全なりして此兩様とも油入の玻
 璃製にして不向にして金風製の品最も需要多し
 本邦製中蓋、把手、油入共に真鍮、鍍金の鍍葉を
 以て製し高さ四寸許、油入の周圍四寸五分許、價
 格一箇に附き千八百位の品の當地に於て手燭の
 代用品として賣高甚だ多く最も繁榮なる西洋雜
 貨店に於ては昨年中八百打以上を賣捌けりと云
 ふ該品を一見するに其製造粗なる「ホー」の劣惡
 なる殆ど玩弄品に異ならざるの觀あるに拘らず
 當地に於ける好況前陳の如きを以て若し少しく
 製造に注意を加へ而も其價格に非常の差異なき
 之期せば本邦製洋燈の需要は益々増加するに至
 るべし一打三十五仙位に之を他國製に比するに
 ば粗惡の點顯著なりと雖も價格の低廉なるがた
 り大に當地方の需要に適するもの如し

鏡子類 本邦製鏡子にして近來上海より輸入し來
 るものあり玻璃の厚さ二分餘、裏板の概にして
 し薄く油塗を塗り鏡像ハ鏡葉にて打附け亞鉛製
 の釣を附け大なるものは長さ四寸、横三寸此小
 賣市價十二仙、小なるものは長さ三寸、横二寸

價八位位なり本品玻璃の品質は良好なれども
 裝飾は著しく粗造なり然れども價格非常低廉
 なるがため大に當地方の嗜好に通じ某雜貨店に
 於ては一箇月三十打を賣捌きたるものあり又本
 邦製鑲嵌計、藍雨計等の類を販賣するの商店あ
 り此二品を一箱に收め箱蓋を黒漆塗と爲し之に
 組なる商標を施したる品市價一打に附き二元八
 十仙位あり之を歐洲製鑲嵌計の價格一箇に附き
 一元五十仙位なる物に比較すれば品質の粗惡な
 る素より免るべからざる所なりと雖も使用上比
 較的に差異を見ざるに價格の低廉なるがために
 本邦品の賣口甚だ宜しきもの如し

齒粉類 本品も亦頗る多額の輸入ありて
 齒粉類 本品も亦頗る多額の輸入ありて
 齒粉類 本品も亦頗る多額の輸入ありて
 齒粉類 本品も亦頗る多額の輸入ありて

無毒西洋白粉

●此透明白粉「パール」
 ベントドモ一見水の
 質最良芳香優美ナル白粉
 ニシテ衛生上經濟上共に
 於テ大流行トナリタル品
 用者諸君ノ愛用品ナレバ使
 事ハ弊舖ノ保証セラル所ナ
 事ハ弊舖ノ保証セラル所ナ

●製造本舖、東京、百花香粧製



田中花王堂
 全國一手發賣元東京山花化粧品
 町二丁目問屋

- 特約大販賣店
- | | | | | | |
|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
| 青森 | 青森 | 青森 | 青森 | 青森 | 青森 |
| 岩手 | 岩手 | 岩手 | 岩手 | 岩手 | 岩手 |
| 秋田 | 秋田 | 秋田 | 秋田 | 秋田 | 秋田 |
| 山形 | 山形 | 山形 | 山形 | 山形 | 山形 |
| 福島 | 福島 | 福島 | 福島 | 福島 | 福島 |
| 茨城 | 茨城 | 茨城 | 茨城 | 茨城 | 茨城 |
| 栃木 | 栃木 | 栃木 | 栃木 | 栃木 | 栃木 |
| 群馬 | 群馬 | 群馬 | 群馬 | 群馬 | 群馬 |
| 埼玉 | 埼玉 | 埼玉 | 埼玉 | 埼玉 | 埼玉 |
| 千葉 | 千葉 | 千葉 | 千葉 | 千葉 | 千葉 |
| 東京 | 東京 | 東京 | 東京 | 東京 | 東京 |
| 神奈川 | 神奈川 | 神奈川 | 神奈川 | 神奈川 | 神奈川 |
| 新潟 | 新潟 | 新潟 | 新潟 | 新潟 | 新潟 |
| 富山 | 富山 | 富山 | 富山 | 富山 | 富山 |
| 石川 | 石川 | 石川 | 石川 | 石川 | 石川 |
| 福井 | 福井 | 福井 | 福井 | 福井 | 福井 |
| 山梨 | 山梨 | 山梨 | 山梨 | 山梨 | 山梨 |
| 長野 | 長野 | 長野 | 長野 | 長野 | 長野 |
| 岐阜 | 岐阜 | 岐阜 | 岐阜 | 岐阜 | 岐阜 |
| 愛知 | 愛知 | 愛知 | 愛知 | 愛知 | 愛知 |
| 三重 | 三重 | 三重 | 三重 | 三重 | 三重 |
| 滋賀 | 滋賀 | 滋賀 | 滋賀 | 滋賀 | 滋賀 |
| 京都 | 京都 | 京都 | 京都 | 京都 | 京都 |
| 大阪 | 大阪 | 大阪 | 大阪 | 大阪 | 大阪 |
| 和歌山 | 和歌山 | 和歌山 | 和歌山 | 和歌山 | 和歌山 |
| 奈良 | 奈良 | 奈良 | 奈良 | 奈良 | 奈良 |
| 徳島 | 徳島 | 徳島 | 徳島 | 徳島 | 徳島 |
| 香川 | 香川 | 香川 | 香川 | 香川 | 香川 |
| 高松 | 高松 | 高松 | 高松 | 高松 | 高松 |
| 愛媛 | 愛媛 | 愛媛 | 愛媛 | 愛媛 | 愛媛 |
| 高知 | 高知 | 高知 | 高知 | 高知 | 高知 |
| 福岡 | 福岡 | 福岡 | 福岡 | 福岡 | 福岡 |
| 佐賀 | 佐賀 | 佐賀 | 佐賀 | 佐賀 | 佐賀 |
| 熊本 | 熊本 | 熊本 | 熊本 | 熊本 | 熊本 |
| 大分 | 大分 | 大分 | 大分 | 大分 | 大分 |
| 宮崎 | 宮崎 | 宮崎 | 宮崎 | 宮崎 | 宮崎 |
| 鹿児島 | 鹿児島 | 鹿児島 | 鹿児島 | 鹿児島 | 鹿児島 |
| 沖縄 | 沖縄 | 沖縄 | 沖縄 | 沖縄 | 沖縄 |

樂器廣告

清樂器及
 附屬品一式
 製造卸

發明特許願
 商標登錄願
 意匠登錄願

高井柏葉堂

●本品の特色

製造元 森川積善堂

丸見屋善兵衛

又古きとへ

天保年間燭書の寫し(永前)

(天保十二年十一月廿六日)

近來面体を隠し候頭巾を掛へ途中にてかぶり候者... 數多有之奉行所尋者に紛敷候頭巾々より有之丸...

右之通御書付出以間町中家持地借店借張々まで篤... 右之通御書付出以間町中家持地借店借張々まで篤...



ライオン歯磨の特効

本品は化學作用により多年實驗して好成績を得たる... 東京特約店 小林富次郎... 東京小間物卸商組

Advertisement for 'Yokohama' goods. Includes illustrations of a hat, a bag, and a box labeled 'YOKOHAMA'. Text: '玉調器絶 優良精品物... 吉常津木'.

Advertisement for 'Koban' (gold) and 'Hana' (flower) products. Includes an illustration of a perfume bottle. Text: '都の花... 東京莊園堂 齋藤泰助'.

また軒をならべ、こゝによる、元船の客をよろけ
て、ことごとみせんに席をばさばし、うたひまひ興
をもよほして、人林びげりさかえたりしに、今ハ
やうやく、娼家三軒のみ残りて、よろづひかし
にかはりたるをなん

ひかしにもかへれいばのみに生ふる
松ざしならはなつた今
こゝに市野屋といへる、茶亭によりて、諸風子
子が僕、太吉と共に、江戸屋といへる、娼家にな
む、出行たきへり、かかれのみ跡にありて、人の
もどむるにまかせ、例のあやしげなる畫なせかき
て

節分の鬼にかはりてよめるうた
わたくしが天の邪鬼ならどうなる
さてもしつこい鬼はそとく
江戸屋の藤が枝といへる遊女、うたかけど、あふ
ぎをもたせおこしたるに
むらさきのゆかりの巻をひきさめて

まつきしにさくくちがえの君
如客をよめるうた
やう〜とわかぬけたる男ぶり
かねい湯水とつかひはたして
こゝに海鳥といへる、茶亭より、人がこせたりけ
るに、おきて見れば、田毎の月見手ればしけか
たはれ女も、みなりまでこゝに來りて、酒くみか
はしはべりしに、一人はまづがえ、今ひとりの體
梅とむ、のこるハみつ里といへるよし、すがた
ものさしひななれとたれど、かほのけはひ、いと
つや〜かた見、はげる、そのみたりを、よめては
どあるとの説きよめ

こゝに又松のくらしをみつゝの里
娘なにはつむりどか
五風のあるじ、贈せよと出したまへるを見れを
子と人ハ一舞の舞なり

そのい波の波のよせしのさざり藤
折られしとてや松が枝に咲
本城はついでい屋のつるしげといへる、遊女をかき
たるに、うたよめと、ある人のをれければ
しつこくしやこいひいどろをさかさまに
つるしげの名のたかき御さりやう
(以下編出)

不妬とは夫に順ひて背き侍ることなく我身を正し
くして人を憐れみたとひ夫の愛する妻ありとも夫
をもとめかねたまはず恨み怒る心なきを云ふなり女
の心せはくして嫉妬ふか夫に不足を思ふ人多し
これ女第一のつゝし事なりたどひ外に夫の愛す
る人ありとも夫をもたせず夫に少しも不足をお
もはず却つて夫の心をはかりて其に愛を愛しいつ
くしむ心あれば夫の節義にはちて妻を見かへず
妾も亦この悪むをうけてかろしめ悔る事あるまじ
、涙の明帝の後、馬皇后は天性才徳すぐれたる
まひ學に通じ行ひ一ツとして道にかなはずといふ
事なし、物ねたみの御心ましますして皇子のう
まれさせたまはぬ事をのみなげかせたまひ才かし
こく容うるはしき女あれば帝に奉つたまひ若し
御寵愛あれば、かぎりなく悦びたまひ其女を猶々
したしくめやみたまひ、尊き御身なれといさ、
かも若たまはず、はなやなる御衣を若たまはず
、あらし御衣をのみ若たまひしとなり、又我朝の
妃氏なりける并御の女は細心少しくなく、かへ
と夫を大切におもひける心ふか、うけることぞ

○不妬
可憐婦人六徳和解 作者不詳
不妬とは夫に順ひて背き侍ることなく我身を正し
くして人を憐れみたとひ夫の愛する妻ありとも夫
をもとめかねたまはず恨み怒る心なきを云ふなり女
の心せはくして嫉妬ふか夫に不足を思ふ人多し
これ女第一のつゝし事なりたどひ外に夫の愛す
る人ありとも夫をもたせず夫に少しも不足をお
もはず却つて夫の心をはかりて其に愛を愛しいつ
くしむ心あれば夫の節義にはちて妻を見かへず
妾も亦この悪むをうけてかろしめ悔る事あるまじ
、涙の明帝の後、馬皇后は天性才徳すぐれたる
まひ學に通じ行ひ一ツとして道にかなはずといふ
事なし、物ねたみの御心ましますして皇子のう
まれさせたまはぬ事をのみなげかせたまひ才かし
こく容うるはしき女あれば帝に奉つたまひ若し
御寵愛あれば、かぎりなく悦びたまひ其女を猶々
したしくめやみたまひ、尊き御身なれといさ、
かも若たまはず、はなやなる御衣を若たまはず
、あらし御衣をのみ若たまひしとなり、又我朝の
妃氏なりける并御の女は細心少しくなく、かへ
と夫を大切におもひける心ふか、うけることぞ

風ふけばさつちならなみたつた山
小唄 夜半にや若びひりゆくらん
とみかたのふたはあはれふかし
(未完)

藤造製 大瓶廿錢 中瓶十錢 小瓶五錢
所は市 國の賣 及小 間物店 あり
定 大瓶廿錢 中瓶十錢 小瓶五錢
製 藤造製
本 藤造製
造 藤造製
堂 藤造製
香 藤造製
芳 藤造製
堂 藤造製

安麿 永香 優香 菊印
三日月
特約販賣東京小問物問屋各店

大勉強廣告
改良有功新化粧劑
吹出物
二キヒ水

丸形 三形
小問物問屋 村田藤七
製造本舖 大島和吉

餘興

東京名物狂歌合

左 腰 風月堂優頭 繪馬屋
右 石のいははに苦のむしたてや
風月堂の君が代優頭

左 持 柚半蝦汁 蟹の屋
右 榮太樓羊羹 柳の屋露交

左 阿保親王の五男との、右俊成卿の總領息子、
ともに名高き歌仙とせけん、伊勢物語も新古今
集もひとつ書細の上にくれし。

小問物商販の愛読者に限り東京名物をよめる
狂歌を直接に判者方へ投詠されれば判詞を加
へて逐次紙上に掲出すべし但し判者は下谷區
谷中三橋町四十五番地梅本鍾太郎氏なり

函館の町名讀込み狂歌
函館鶴岡町 淺見主人

一 月の初賣あての注文が
暮にとよきてながく大町
三平二浦も東京仕入の化粧品
つくりあぐれば活な辨天
一文の金から身上ふらして
むかし思へばはんに未廣
押賣をいや／＼ながら引受で
思はぬまふけあつた幸
小問物をたんと仕入てたから船
陸揚げする 西東渡

開け行く世にわれはる小問物
石川ならで異町か
もはや勲がぬ石地蔵町
品物をたんと仕入て直と安く
うつてお客を鶴岡町
年寄れば商ひとても大儀ゆゑ
家習ゆづらむせがれ若松
取引に信用切れし其とき
共にはたらき捨れよ大綱
商ひの海老で鯛つる如くなり
まふけて見ればニッコリ悲比須
お互ひに信を破らす商へば
世の太平で蓬萊の町
商人の妻さきさきこらへつ
辛抱すれば未賣町
失敗の智恵の働さ足らぬなり
西での損のあらへ東川
正直に商ふ人の住居ごと
實に色かへぬ松の高砂
一粒の種がだん／＼殖へ榮え
元の野原も今は大森
當てもなく賣の穂を望むより
勉強すれば直に大黒
皆さんに引立られて普請した
いろはの倉の鍵鎖へ鍛冶
商ひの初めは金や智恵ならず
親のゆづりの身体強町
新形の流行もの洋婦まで
美に見えどれて駒の町

四十七號智恵くらべの解

野紙、帳簿(帳簿) 肩、頭(鯛子) 水のい
に、徳がアありまきさい(水野、井伊、丹波、徳川
有馬、酒井)
(一) 南千住町田村店無鑑○千葉縣井上賢太郎○
東京神田區藤原坊○同下谷白雲小僧○伊勢鈴源内事
次郎○上州高崎内田小僧
(二) 甲府柳三矢崎店岡半司郎○東京日本所線町三丁
目林長之助○宇都宮市宮島北住○東京日本橋邊人
岡本石町某店小僧

廣

告

一 各位益々御繁榮之條奉賀候扱
て昔年より夙に御實登を請居候
東京元結之義は從來より組合員
一同特別製品の善良なるを旨と
して一層篤實に營業罷在候處近
來東京元結問屋と稱し品位の何
たるを論せず行商者有之候哉に
承り右は我が品位名稱にも相關
し候に付今回各位の御注意迄に
下名を列記し茲に謹告仕候間連
名の者へ向後益々御信用御引立
の程偏に奉懇願候以上

明治三十年二月

東京元結問屋

組合事務所

全國御得意各位御中

- | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|-------|-------|------|-------|-------|-------|------|-------|-------|------|-------|------|------|-------|------|------|-------|------|-------|------|-------|
| 信濃屋號 | 三河屋號 | 岡本屋號 | 大倉屋號 | 山城屋號 | 山城屋號 | 桔梗屋號 | 岡本屋支店 | 吉田屋號 | 和泉屋號 | 大倉屋號 | 柏屋號 | 牧野屋號 | 入野屋號 | 犬和屋號 | 近江屋號 | 上州屋號 | 桔梗屋號 | 野口屋號 | | |
| 市瀨音八郎 | 萩本彦四郎 | 原常吉 | 西川重治郎 | 西川幸太郎 | 富永左衛門 | 大谷藤助 | 加藤慶一郎 | 香川金兵衛 | 吉川兼助 | 吉濱伊之助 | 内藤平吉 | 内藤龜吉 | 村瀬平太郎 | 牧野三郎 | 松島榮吉 | 藤井右衛門 | 布施茂八 | 荒木芳五郎 | 下田勘藏 | 城子林兵衛 |

平尾贊平名義繼續廣告

今般平尾贊平死去致候に就ては各地御得意様方より種々御問合之向も有之候得共弊鋪儀は豫て營業主任并に店則等も確定致居候儀故同人死去致候共更に方針其他とも變更は不仕候のみならず矢張從前之通り平尾贊平名義を繼續營業し且向後一層の奮勵を加へ専ら薄利着實に御取引可仕候間何卒倍舊の御愛顧被成下度此段爲念謹告仕候也

日本橋區馬喰町二丁目六番地
二世 平尾 贊平

諸官省御用 ●全國五二會品評會に於て進歩銅牌受領

人印石燭は光力非常に強く炎上油煙なし其保つ時間長く故に經濟上に利益あること往來の蠟燭に比し殆ど二倍強に當る其原料は我國の礦産なれば臭氣なく極めて清浄なるを以て神佛燈火及豪華家には尤適し殊に美麗なるを以て進歩物等に宜し大形五時間中形四時間小形三時間持受合

製造發賣元東京馬喰町二丁目
花王石燭本舖(電話) 長瀬富郎
市内は十番以上馬喰町外八番は長瀬本舖迄
近來類似り人印商標購買部名義に御注意也

其他リスリン石燭各品
諸石燭卸販賣仕候
長榮社製造代理店

日本橋區小傳馬町三丁目九番地
ネリン艶の司 本舖 永井 徳太郎



羽衣石燭は化學の應用と實驗とを重ねて發明し夫の世間に有る粗末の品とは自ら當拂の差あり元來弊店の考案は外形及香氣より原料に注意して製成するを以て皮膚の衛生に効能あり故に此石燭を常に使用するときには自然に身體を美麗白皙ならしむると天津乙女の羽衣にも輝けりて實に不思議の品也

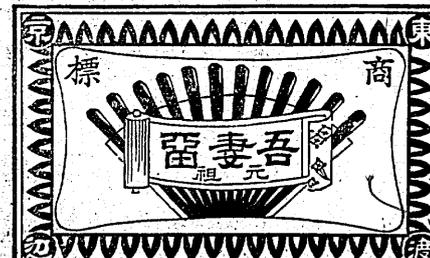
東京日本橋小傳馬町三丁目十七番地
本舖 石井 勇助
關西特約店 大阪市南久寶寺町
長谷川 榮助
寺澤 兵衛
江地 留次郎
藤野 六太郎
幸吉
同 同 同 同 同 同 同 同 同 同
同 同 同 同 同 同 同 同 同 同
同 同 同 同 同 同 同 同 同 同
同 同 同 同 同 同 同 同 同 同

醫學士稻生梯先生新方

定價 蜜石燭 一個十五錢郵稅二錢
○肌を潤にし色を白くし皮膚の荒を防ぎ艶を出しにさびはたけしむるを、水むし、でさむの其他皮膚病一切に大功あり注意近來類似の偽品を販賣する者有之其間商標下名額と修改の上請求被下度候

麻香入里殿林石燭 製造 鈴木保五郎
東京市芝區名倉町三丁目二番地
發售所 鈴木保五郎 本舖

○肌膚を潤にし色を白くし皮膚の荒を防ぎ艶を出しにさびはたけしむるを、水むし、でさむの其他皮膚病一切に大功あり注意近來類似の偽品を販賣する者有之其間商標下名額と修改の上請求被下度候



東京日本橋區本町二丁目五番地
本舖 渡邊 茂支店
同 同 同 同 同 同 同 同 同 同
同 同 同 同 同 同 同 同 同 同
同 同 同 同 同 同 同 同 同 同
同 同 同 同 同 同 同 同 同 同

士界五員正會學凡國英
方博士先吉讓茶高
KOKOKURABANKUKASEIKIN KOGAKUSHI
J. TAKMINE
牙膏
TOOTH POWDER
TOKIO FUZIMAKISEI

製造發賣本舖 藤卷 藤衛
東東京區板橋區小野澤 商店
全 全 全 全 全 全 全 全 全 全
全 全 全 全 全 全 全 全 全 全
全 全 全 全 全 全 全 全 全 全
全 全 全 全 全 全 全 全 全 全

第四回全國博覽會一等賞
第一回全國博覽會一等賞
THE DIAMOND MARK
AN EXCELLENT TOOTH POWDER
標商録登

目丁馬町喰馬市京東
製謹氏尾平

定價	袋入	小箱	大箱	金五錢	圓形	金八錢	金付	金八錢	金付	大箱	金十錢	鏡付	十五錢	鏡付	十五錢	高等	木箱	金十錢	金川	銀入
----	----	----	----	-----	----	-----	----	-----	----	----	-----	----	-----	----	-----	----	----	-----	----	----

本品を明治廿四年創業以來内外各地に非常なる好評を博し従て販賣高之多き事日本全國中第一とす且品質之純良と價格之低廉なるは普く諸君の認むる處也

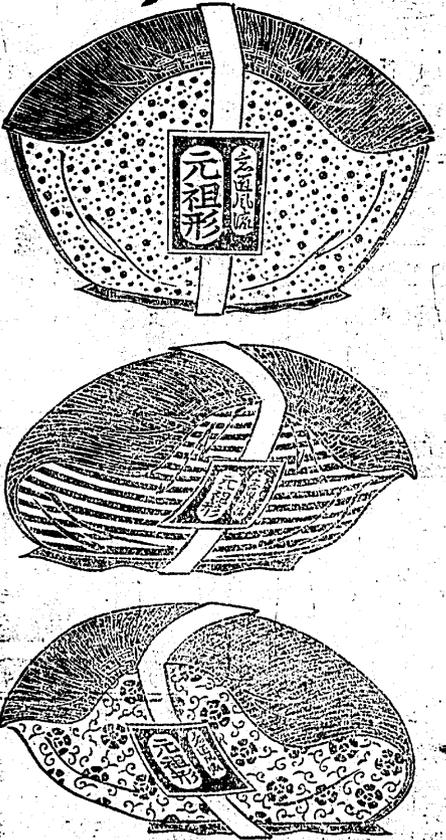
標商録登
製造元 東京 平尾 齋平

煉白粉
近日發賣仕候也

高等製	金十五錢
普通製	金十錢

有名賣藥 御問屋 御用達 小町水本店 岳陽堂 平尾齋平
化粧品類
便利大(橋町四九尾屋) 横山町一近源 通油町村藤 銀座一佐々木 通油町山田 馬場三武井 販賣店(横山町一柏) 馬場三武井 横山町一三寶 横山町一三寶 横山町一三寶 横山町一三寶

意匠 風流 元祖形



表本紺土佐製
發賣元 小問物問屋

新歌舞伎形
ムヒの形
明比の形
鳥形

加 大和屋惣右衛門

上郡ハ本紺土佐紙にして裏面ハ同紙質の紺地に鼠の小紋更紗の畫夜に於る新意匠たる風流の新體にして専ら流行中の新形より新案のものなれば形は勿論結以上ハ華美高尚にして裏面の風致を粧ハ品位を高り至て優雅の裝飾品なり

美人は「高評博し化粧品大王」
「化粧」別稱「化粧」の名譽を白粉
原品直輸入元

獨「ス」シテ會社

此別稱「化粧品大王」一目見れば只の清水の如くなれども不思議にその白くする事雪の如く玉の如くし行水濁あがりがけみを用はすして其功す次に用ゆることも決してむらにならず○おせ平○よきで物は立所にさがるがゆゑにこれを用ひ玉は一人一倍の光彩を放つ

化粧品小問物問屋
東京市日本橋區橋山町三丁目一番地
白光本本店
三橋 喜次郎製

特約代理店
同馬場三武井 同橋山町一三寶 同通油町山田 同銀座一佐々木 同馬場三武井 同橋山町一三寶 同通油町山田 同銀座一佐々木 同馬場三武井

毎月十五日廿五日三回發行會費金壹圓五厘一編録發行入